

計画期間中における点検等の実施状況等

「伊方発電所第3号機 点検計画（第16保全サイクル）」

## 点検計画の記載について

### 1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

#### (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として以下の設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2により、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画に仕様を記載していない設備のうち、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについては、除外している。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類、固縛用ナイロンスリング類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファックス他）

②保全重要度が高い設備

#### (2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として以下を記載している。

・定期事業者検査に係る点検

・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・記載対象設備において上記に該当する点検がない設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「伊方発電所施設管理内規」に定めている。

#### ※1 附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、サイトグラス等

#### (3) 保全重要度について

機器レベルの保全重要度は、「伊方発電所施設管理内規」により定義されているG1～G5の5段階で表記する。5段階のうち、G1、G2、G3は、保全重要度「高」、また、G4、G5は、保全重要度「低」として取り扱うこととする。

ただし、構築物の保全重要度については、系統レベルの影響度評価結果に基づき、「高」又は「低」と記載している。

なお、保全重要度「高」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

#### (4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

・状態基準保全を採用しているもの：CBM

・事後保全を採用しているもの：BDM

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年、「YP」：年、「B」：状態監視の結果で表記している。

- ・定期事業者検査中に実施する性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「YP」により表記している。  
なお、「M」により表示された頻度は、原子炉の運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
- ・「供用期間中検査」のように定期事業者検査中に実施するもので年度管理するものについては、「YP」により表記している。
- ・換気空調設備のようにプラント運転中に点検を実施するもので年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・定期事業者検査中に実施する性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」※<sup>2</sup>により表記している。  
また、「燃料取扱設備検査」のようにプラント運転中に実施しているものでも定期事業者検査に合わせて実施しているものは「C」により表示している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「2次系配管肉厚検査計画による」と表記している。
- ・状態監視の結果に基づき分解点検等の実施時期を定め、分解点検等に合わせて機能・性能試験を定期事業者検査として実施する場合については、技術基準適合判断を伴う状態監視の頻度を一定の期間として扱い、「B」により表記している。

※2：「C」により表記している「機能・性能試験」、「漏えい試験」、「外観点検」等は、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象としている。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については、「定期事業者検査起動後」、「プラント運転中」等の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第16保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、本保全サイクル中に1つでも点検の計画があれば「○」としている。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（実施時期）を記載している。

なお、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	参考1-5
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	参考1-5
原子炉冷却系統施設	参考1-7
計測制御系統施設	参考1-37
放射性廃棄物の廃棄施設	参考1-41
放射線管理施設	参考1-46
原子炉格納施設	参考1-53
原子炉施設	参考1-65
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	参考1-65
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）	参考1-67
その他発電用原子炉の附属施設（補助ボイラー）	参考1-67
その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）	参考1-68
その他発電用原子炉の附属施設（浸水防護施設）	参考1-69
その他発電用原子炉の附属施設（非常用取水設備）	参考1-69
その他発電用原子炉の附属施設（緊急時対策所）	参考1-70
竜巻防護対策設備	参考1-70
土木建築設備	参考1-70
プラント総合	参考1-70
全般機器	参考1-70

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	参考1-71
原子炉冷却系統施設	参考1-72
計測制御系統施設	参考1-73
放射線管理施設	参考1-74
原子炉格納施設	参考1-76
原子炉施設	参考1-77
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	参考1-78
その他発電用原子炉の附属施設（浸水防護施設）	参考1-82
その他発電用原子炉の附属施設（緊急時対策所）	参考1-82
土木建築設備	参考1-82
全般機器	参考1-82

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	ページ
	参考1-83
	参考1-83
	参考1-84
	参考1-85
	参考1-85
	参考1-86
	参考1-87
	参考1-87
	参考1-87

4. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

機器又は系統名	ページ
原子炉冷却系統施設	参考1-88
放射性廃棄物の廃棄施設	参考1-88
放射線管理施設	参考1-88
その他発電用原子炉の附属施設	参考1-91
その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）	参考1-91

5. 行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	参考1-93

1.点検計画 設計基準準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕	
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体	※1一式 外観点検	G3	1C	○	15回	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による	
		外観点検		1C	○	15回	700 燃料集合体外観検査 ※2	※2 燃料集合体の不具合により計画	
原子炉本体 [原子炉容器] 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	照射済燃料集合体(取出し燃料)	※一式 外観点検	G3	1C	○	15回	81 燃料集合体外観検査(取出し燃料)	※炉心設計による	
	1.燃料集合体 2.内挿物 48体 (1)制御棒クワース (2)ハーナホルボイスタ (3)アキングアハイス (4)2次中性子源	外観点検	G3	1C	○	15回	3 燃料集合体内配置検査	※炉心設計による	
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	4 原子炉停止余裕検査	定検起動後	
		機能・性能試験	G1	1C	○	15回	80 炉物理検査	定検起動後	
		開放点検	G3	13M	○	15回			
	原子炉容器	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	36 燃料取扱装置機能検査 (潤滑油診断:2C)	
	使用済燃料ピットクレーン3号	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
			機能・性能試験	G3	1C	○	15回	36 燃料取扱装置機能検査	
			簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y	○	2022年	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中
	燃料取扱クレーン3号	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	74 燃料取扱設備検査	フランク運転中
機能・性能試験			G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中	
簡易点検(点検手入れ)			G3	1Y	○	2022年		フランク運転中	
燃料移送装置(FH/B側)	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)	
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	○	15回		フランク運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕 (潤滑油診断:2C)	
燃料移送装置(C/V側)	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	36 燃料取扱装置機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)		
		簡易点検(点検手入れ)		1C	○	15回			
	新燃料エレベータ	1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中 (潤滑油診断:2C)
			機能・性能試験		1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	プラント運転中
			簡易点検(点検手入れ)		1C	○	15回		プラント運転中
	燃料仮置フック		外観点検	G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	
		1台	外観点検	G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	プラント運転中
		1台	機能・性能試験	G3	1C	○	15回		プラント運転中
	新制御クワースタ取扱工具	3台	外観点検	G3	1C	○	15回	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック 試験等)	一部プラント運転中
			機能・性能試験		1C	○	15回		一部プラント運転中
			機能・性能試験		1C	○	15回		一部プラント運転中
	稼働燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕 稼働燃料物質の取扱施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備〕		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中
			機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中
			外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
		外観点検	G3	1C	○	15回		プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	15回		プラント運転中	
使用済燃料ピットポンプ3A			機能・性能試験	G3,G4	1C	○	15回	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能 検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M)	
		分解点検	G3	130M	—	14回		(振動診断:1M)	
		分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		分解点検	G3	130M	—	15回		(振動診断:1M)	
		開放点検	G4	130M	—	9回			
		開放点検	G4	130M	—	9回			
		開放点検	G3	195M	—	12回	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験		390M	—	12回	91 1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	使用済燃料ピット冷却器3B	開放点検 非破壊試験	G3	195M 390M	-	13回	91 1次系熱交換器検査		
	使用済燃料ピット冷却器3C	開放点検	G3	130M	-	11回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の非一式	分解点検 他	G3,G4	144M~ 180M	-	14回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部ソフト運転中	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器一式	単体調整試験 他	G4	13M	○	15回			
	燃料取替用水タンクポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)	
	燃料取替用水タンクポンプ3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	-	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	燃料取替用水タンクポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)	
	燃料取替用水タンクポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	-	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の非一式	分解点検 他	G3,G4	130M~ 156M	○	13回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器一式	開放点検 他	G3	195M~ 390M	-	9回		
蒸気発生器3A		開放点検(1次側マニホール) 増締め(1次側マニホール)	G1	26M 13M	○ -	14回 15回			
		非破壊試験		26M	○	14回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本	
		開放点検(2次側マニホール)		65M	-	14回			
		開放点検(2次側マニホール)		39M	○	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕			
蒸気発生器3B		開放点検(1次側マニホール)	G1	26M	—	15回					
		増締め(1次側マニホール)		13M	○	14回					
		非破壊試験		26M	—	15回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本			
		開放点検(2次側マニホール)		65M	—	14回					
		開放点検(2次側ハントホール)		39M	○	15回					
		開放点検(1次側マニホール)		26M	—	15回					
		増締め(1次側マニホール)		13M	○	14回					
		非破壊試験		26M	—	15回	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本			
		開放点検(2次側マニホール)		65M	—	14回					
		開放点検(2次側ハントホール)		39M	○	15回					
		機能・性能試験		1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
漏えい試験	1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査							
蒸気発生器3C		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験		1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験		1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験		1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験		1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験		1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験		1C	○	15回	11 加圧器逃がし弁機能検査				
		分解点検(弁本体)		26M	○	15回	13 加圧器逃がし弁分解検査				
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回					
漏えい試験	1C	○	15回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査							
加圧器安全弁3A		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験		1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験		1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験		1C	○	15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験		1C	○	15回	11 加圧器逃がし弁機能検査				
		分解点検(弁本体)		26M	○	15回	13 加圧器逃がし弁分解検査				
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回					
		漏えい試験		1C	○	15回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査				
		加圧器安全弁3B			機能・性能試験	G3	1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査	
					分解点検		13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査	
漏えい試験	1C		○		15回		9 加圧器安全弁漏えい検査				
機能・性能試験	1C		○		15回		8 加圧器安全弁機能検査				
分解点検	13M		○		15回		10 加圧器安全弁分解検査				
漏えい試験	1C		○		15回		9 加圧器安全弁漏えい検査				
機能・性能試験	1C		○		15回		11 加圧器逃がし弁機能検査				
分解点検(弁本体)	26M		○		15回		13 加圧器逃がし弁分解検査				
分解点検(駆動部)	26M		○		15回						
漏えい試験	1C		○		15回		12 加圧器逃がし弁漏えい検査				
加圧器安全弁3C			機能・性能試験		G3		1C	○	15回	8 加圧器安全弁機能検査	
			分解点検				13M	○	15回	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験	1C	○		15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験	1C	○		15回	8 加圧器安全弁機能検査				
		分解点検	13M	○		15回	10 加圧器安全弁分解検査				
		漏えい試験	1C	○		15回	9 加圧器安全弁漏えい検査				
		機能・性能試験	1C	○		15回	11 加圧器逃がし弁機能検査				
		分解点検(弁本体)	26M	○		15回	13 加圧器逃がし弁分解検査				
		分解点検(駆動部)	26M	○		15回					
		漏えい試験	1C	○		15回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査				
		加圧器逃がし弁3A		機能・性能試験		G3	1C	○	15回	11 加圧器逃がし弁機能検査	
				分解点検(弁本体)			26M	○	15回	13 加圧器逃がし弁分解検査	
分解点検(駆動部)	26M			○	15回						
漏えい試験	1C			○	15回		12 加圧器逃がし弁漏えい検査				



機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
3PCV-452B	加圧器逃がし弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	11 加圧器逃がし弁機能検査	〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
		分解点検(弁本体)		26M	○	15回	13 加圧器逃がし弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		26M	—	15回			
		漏えい試験		1C	○	15回	12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	加圧器逃がし弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		130M	—	12回			
		分解点検(駆動部)		130M	○	7回			
		分解点検(電動機)		195M	—	7回			
	加圧器逃がし弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		130M	—	13回			
		分解点検(駆動部)		130M	○	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	3回			
	1次冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G1	1C	○	15回	92 1次冷却材ポンプ機能検査		一部定検起動後
		分解点検		130M	—	15回			
軸封部点検		13M		○	15回	90 1次冷却材ポンプメカニカル分解検査	一部プラント運転中		
分解点検		39M		○	13回		(振動診断:1M, 1C, 潤滑油診断:1C)		
1次冷却材ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G1	130M	—	13回				
	分解点検		1C	○	15回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後		
	分解点検		130M	—	13回				
	軸封部点検		13M	○	15回	90 1次冷却材ポンプメカニカル分解検査	一部プラント運転中		
1次冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G1	39M	—	14回				
	分解点検		130M	—	13回				
	分解点検		13M	○	15回				
	軸封部点検		39M	—	14回		(振動診断:1M, 1C, 潤滑油診断:1C)		
1次冷却材ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G1	130M	—	14回				
	分解点検		130M	—	14回				

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験	G1	1C	○	15回	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		分解点検		130M	—	7回		
	1次冷却材ポンプ3C電動機	軸封部点検	G1	13M	○	15回	90 1次冷却材ポンプ/メカニカル分解検査	一部プラント運転中
		分解点検		39M	—	15回	(振動診断:1M, 1C, 潤滑油診断:1C)	
	加圧器3号	非破壊試験(フライホイール)	G3	130M	—	15回		
		開放点検		39M	○	15回		
	原子炉冷却系統施設 〔一二次冷却材の循環設備〕 その他の弁一式	マンホール増締め	G3	13M	—	14回		
		分解点検 他		13M~156M	○	15回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔一二次冷却材の循環設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G1~G3	13M~325M	○	15回	34 安全保護系設定値確認検査 35 フラント状態監視設備機能検査	
		機能・性能試験		G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査
	主蒸気安全弁3A1	分解点検	G3	26M	○	14回		
		漏えい試験		2C	○	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B1	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	15回		
主蒸気安全弁3C1	漏えい試験	G3	2C	—	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
主蒸気安全弁3A2	分解点検	G3	26M	—	15回			
	漏えい試験		2C	—	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気安全弁3B2	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	分解点検		26M	○	14回			
主蒸気安全弁3C2	漏えい試験	G3	2C	○	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	3V-MS-522C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	14回		
		漏えい試験		2C	○	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	3V-MS-523B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	分解点検		26M	-	15回			
	漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
3V-MS-524A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	分解点検		26M	-	15回			
	漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	分解点検		26M	○	14回			
	漏えい試験		2C	○	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査		
	分解点検		26M	-	15回			
	漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
主蒸気安全弁3C4	3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3A5	3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	14回		
		漏えい試験		2C	○	14回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3B5	3V-MS-525B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3C5	3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	-	15回		
		漏えい試験		2C	-	15回	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁3A	3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備 作動検査	一部プラント運転中
		分解点検(弁本体)		13M	○	15回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回		
主蒸気逃がし弁3B	3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		分解点検(弁本体)		13M	○	15回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシンク熱輸送設備 作動検査	
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	
		漏えい試験		1C	○	15回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術
主蒸気逃がし弁3C	3PCV-485	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備動作検査	一部プラント運転中
		分解点検(弁本体)		13M	○	15回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回		
		漏えい試験		1C	○	15回	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	3V-MS-528A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回		
		機能・性能試験		1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回		
主蒸気隔離弁3B	3V-MS-528B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回		
		機能・性能試験		1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
	3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	○	14回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	○	15回		
		機能・性能試験		1C	○	15回	29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検(弁本体)		26M	-	15回	122 2次系弁検査	
		分解点検(駆動部)		26M	-	15回		
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁一式	3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	13M~ 195M	○	15回	122 2次系弁検査	
		分解点検 他		13M	○	15回		
		単体調整試験 他		13M	○	15回		
		機能・性能試験		10C	-	11回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器一式	分解点検	G3	130M	-	11回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		12C	-	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断: 2C, 赤外線診断:1C)
		分解点検		156M	-	14回		
		潤滑油入替		26M	-	15回		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	余熱除去ポンプ3A	機能・性能試験	G3	12C	-	14回		
		分解点検		156M	-	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)	
		分解点検		130M	—	14回	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		機能・性能試験		12C	—	12回	83 1次系ポンプ機能検査		
	余熱除去ポンプ3B電動機	分解点検	G3	156M	—	12回			(振動診断:1M, 潤滑油診断: 2C, 赤外線診断:1C)
		潤滑油入替		26M	—	15回			
		分解点検(非本体)		130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁	分解点検(駆動部)	G3	130M	—	9回			
		分解点検(電動機)		130M	—	7回			
		分解点検(非本体)		195M	—	7回			
	ループ3B余熱除去系第2入口弁	分解点検(非本体)	G3	130M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
		分解点検(駆動部)		130M	○	7回			
		分解点検(電動機)		195M	—	8回			
	余熱除去ポンプ3A再循環ポンプRWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	15回	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(非本体)		130M	—	15回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	6回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
	余熱除去ポンプ3B再循環ポンプRWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	○	13回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	○	7回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回		
	余熱除去クーラー3A出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	15回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	15回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	15回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	余熱除去クーラー3B出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	11回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
余熱除去ラインループ3A低温側入口第2逆止弁	3V-RH-044A	分解点検	G3	78M	—	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
余熱除去ラインループ3B低温側入口第2逆止弁	3V-RH-044B	分解点検	G3	78M	○	10回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
余熱除去ラインループ3C低温側入口第2逆止弁	3V-RH-044C	分解点検	G3	78M	—	14回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
余熱除去ラインループ3A低温側入口第1逆止弁	3V-RH-047A	分解点検	G3	39M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕						
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁	分解点検	G3	39M	-	15回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査							
		分解点検							G3	39M	-	14回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(弁本体)												
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査						
		分解点検(駆動部)								130M	-	9回		
		分解点検(電動機)												
	余熱除去系出口連絡ライン弁3B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	-	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査						
		分解点検(駆動部)								130M	-	13回		
		分解点検(電動機)												
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査						
		分解点検(駆動部)								130M	-	9回		
		分解点検(電動機)												
余熱除去ラインループ3B高温側注入弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	-	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査							
	分解点検(駆動部)								130M	-	13回			
	分解点検(電動機)													



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕						
	余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁 3V-RH-053A	分解点検	G3	78M	○	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査							
		分解点検							G3	78M	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(弁本体)												
	ループ3B余熱除去系第1入口弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査							
		分解点検(駆動部)							130M	-	9回			
		分解点検(電動機)												
	ループ3C余熱除去系第1入口弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査							
		分解点検(駆動部)							130M	-	13回			
		分解点検(電動機)												
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁	3HCV-603	機能・性能試験	G3	4C,8C	-	14回	84 1次系弁検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施					
			分解点検(弁本体)							104M	-	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
			分解点検(駆動部)											
余熱除去冷却器3B出口流量調整弁	3HCV-613	機能・性能試験	G3	4C,8C	-	13回	84 1次系弁検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施						
		分解点検(弁本体)							104M	-	13回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
		分解点検(駆動部)												
		分解点検(電動機)		52M	-	14回								
				52M	-	15回								

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	余熱除去ループ3A流量制御弁 3FCV-604	機能・性能試験	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	12回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	15回		
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	余熱除去ループ3B流量制御弁 3FCV-614	機能・性能試験	G3	4C,8C	—	13回	84 1次系弁検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		104M	—	11回	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回		
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	余熱除去冷却器3A	開放点検	G3	195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		開放点検		195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	余熱除去冷却器3B	開放点検	G3	195M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	—	13回	91 1次系熱交換器検査	
		分解点検 他		104M~ 390M	○	15回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔燃料取替用水設備〕	燃料取替用水タンク3号	単体調整試験 他	G2	13M	○	15回		
		開放点検		195M	—	13回		
		単体調整試験 他		13M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高圧及び低圧注入系 高圧注入ポンプ3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		195M	○	1回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	
		分解点検		130M	—	14回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕	
	高圧注入ポンプ3B	分解点検	G3	195M	—	2回	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		分解点検	G3	130M	—	15回		(振動診断:1M)	
	高圧注入ポンプ3B電動機	3V-SI-002A 高圧注入ポンプ3A入口弁	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	—	14回		
		分解点検(電動機)		195M	—	6回			
		3V-SI-002B 高圧注入ポンプ3B入口弁	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁	3V-SI-026A	分解点検(駆動部)		130M	—	15回		
			分解点検(電動機)		195M	—	6回		
		機能・性能試験	G3	10C,15C	○	8回		弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(弁本体)		130M	○	6回		18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁	3V-SI-026B	分解点検(駆動部)		130M	○	6回		
			分解点検(電動機)		195M	—	8回		
機能・性能試験		G3	10C,15C	—	13回		84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
分解点検(弁本体)			130M	—	9回		18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回			
		分解点検(電動機)		195M	—	8回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕 弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
	高圧注入ライン隔離弁3A	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	14回	84 1次系弁検査	
		分解点検(弁本体)		130M	—	14回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	14回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	高圧注入ライン隔離弁3B	機能・性能試験	G3	10C,15C	—	15回	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	15回		
		分解点検(電動機)		195M	—	4回		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3A	機能・性能試験	G3	130M	—	14回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(弁本体)		130M	—	14回		
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
高圧注入ポンプ出口連絡弁3B	機能・性能試験	G3	130M	—	8回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	13回			
	分解点検(駆動部)		130M	—	8回			
	分解点検(電動機)		195M	—	8回			
高温側高圧注入ライン止弁3A	機能・性能試験	G3	130M	—	11回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M	—	10回			
	分解点検(駆動部)		130M	—	7回			
	分解点検(電動機)		195M	—	7回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の要 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	高温側高圧注入ライン止弁3B	3V-SI-067B 分解点検(弁本体)	G3	130M	○	6回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	○	6回		
		分解点検(電動機)		195M	—	8回		
	高圧注入ラインループ3A低温側第2逆止弁	3V-SI-072A 分解点検	G3	260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-072B 分解点検		260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-072C 分解点検		260M	—	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3B低温側第1逆止弁	3V-SI-075A 分解点検	G3	260M	—	15回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-075B 分解点検		260M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-075C 分解点検		260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高圧注入ラインループ3A高温側第2逆止弁	3V-SI-079A 分解点検	G3	260M	—	—	28回にて初回点検を計画	
		3V-SI-079B 分解点検		260M	—	29回にて初回点検を計画		
		3V-SI-079C 分解点検		260M	—	30回にて初回点検を計画		
高圧注入ラインA系ループ3C高温側第2逆止弁	3V-SI-079C 分解点検	G3	260M	—	—	29回にて初回点検を計画		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検査回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
機器又は系統名	高圧注入ラインB系ループ3C高温側第2逆止弁	3V-SI-079D 分解点検	G3	260M	—	—	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	30回にて初回点検を計画
	高圧注入ラインループ3A高温側第1逆止弁	3V-SI-082A 分解点検	G3	65M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁	3V-SI-082B 分解点検	G3	65M	—	12回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C高温側第1逆止弁	3V-SI-082C 分解点検	G3	65M	—	13回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	格納容器再循環ポンプ3A隔離弁	3V-SI-093A 分解点検(弁本体)	G3	156M	—	15回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	14回		
		分解点検(電動機)		195M	—	7回		
	格納容器再循環ポンプ3B隔離弁	3V-SI-093B 分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	蓄圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
3V-SI-132A 蓄圧ポンプ3A出口弁		3V-SI-132A 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	8回		
		分解点検(電動機)		195M	—	11回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	蓄圧タンク3B出口弁	3V-SI-132B 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	○	6回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	蓄圧タンク3C出口弁	3V-SI-132C 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回		
		分解点検(電動機)		195M	—	3回		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134A 分解点検	G3	78M	—	14回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検		78M	○	10回		
		分解点検		78M	—	12回		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136A 分解点検	G3	39M	—	15回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検		39M	○	13回		
		分解点検		39M	—	14回		
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136B 分解点検	G3	195M	—	15回	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		開放点検		195M	○	2回		
		開放点検		195M	—	3回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	格納容器再循環ポンプ3A	外観点検	G3	1C, 2C	○	15回	89 1次系容器検査	
	格納容器再循環ポンプ3B	外観点検	G3	1C, 2C	○	15回	89 1次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3, G4	78M~ 390M	○	15回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他AM弁一式	分解点検 他	G3	156M~ 208M	—	13回	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G2, G3	13M~ 195M	○	15回		
	充てんポンプ冷却材補給系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	65M	—	14回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
	充てんポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		
		潤滑油入替		13M	○	15回		
	充てんポンプ3B	分解点検	G3	65M	—	13回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		13M	○	15回		
	充てんポンプ3C	分解点検	G3	65M	—	15回	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
	体積制御タンク3号	潤滑油入替		13M	○	15回		
冷却材717/3号	開放点検	G3	195M	—	8回			
非再生冷却器3号	開放点検	G3	130M	—	9回			
	開放点検	G3	195M	—	10回	91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		390M	—	10回	91 1次系熱交換器検査		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他一式	原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 390M	○	15回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G2~G4	13M~ 390M	○	15回		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	15回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	—	13回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		130M	—	14回		
原子炉補機冷却水ポンプ3C	原子炉補機冷却水ポンプ3C	潤滑油入替		26M	○	15回		
		機能・性能試験	G3	10C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	—	14回	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	10C	○	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		機能・性能試験		130M	○	13回		
		分解点検		26M	○	15回		
	原子炉補機冷却水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	10C	—	15回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	—	15回	82 1次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	
		分解点検		130M	—	13回		
		潤滑油入替		26M	○	15回		
	原子炉補機冷却水冷却器3A	開放点検	G3	26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	—	15回	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	○	15回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	○	15回	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	○	15回	91 1次系熱交換器検査	
原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	○	15回	91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		26M	○	15回	91 1次系熱交換器検査		
	漏えい試験		2C	○	15回	91 1次系熱交換器検査		
原子炉補機冷却水ポンプ3号	開放点検	G3	195M	—	14回			
	分解点検 他		G3,G4	52M~ 390M	○	15回		85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査
	分解点検 他		G3	130M~ 156M	—	13回		84 1次系弁検査
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他の弁 一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M	○	15回			
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他AM弁 一式							
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他機器 一式							

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	海水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	2C	—	15回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	—	15回	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	8C	—	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M	—	14回		
		潤滑油入替		26M	—	15回		
	海水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	2C	—	15回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	—	15回	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	—	15回	121 2次系ポンプ機能検査	
	分解点検	104M	—	15回				
	潤滑油入替	26M	—	15回				
	海水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	2C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	○	15回	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	
	分解点検	104M	○	15回				
	潤滑油入替	26M	○	15回				
	海水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	2C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	○	15回	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	
	分解点検	104M	○	15回				
	潤滑油入替	26M	○	15回				
海水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	2C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)	
	分解点検		26M	○	15回	120 2次系ポンプ分解検査		
	機能・性能試験		8C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
分解点検	104M	—	13回					
潤滑油入替	26M	○	15回					
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3	26M~ 260M	○	15回	122 2次系弁検査	有効性評価No.1の反映	
			26M~ 156M	○	14回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検査回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	G2	1C	○	15回	78 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
	高压タービン	機能・性能試験	G1	1C	○	15回	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	○	13回	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	—	15回		
		機能・性能試験	G1	1C	○	15回	55 総合負荷性能検査	
	低圧第1タービン	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査	
		部分点検		26M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査	
		機能・性能試験	G1	1C	○	15回	55 総合負荷性能検査	
		開放点検		39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	低圧第2タービン	部分点検		26M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
機能・性能試験		G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
開放点検			39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
機能・性能試験		G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
主蒸気止め弁3A	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
主蒸気止め弁3B	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
主蒸気止め弁3C	開放点検		39M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
	開放点検		39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
主蒸気止め弁3D	開放点検		39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
	開放点検		39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
蒸気加減弁 第1弁	開放点検		39M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	蒸気加減弁 第2弁	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第3弁	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第4弁	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		39M	-	14回	128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔復水器〕	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	15回	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水器ホップ3A	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホップ3B	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホップ3A	分解点検	G4	78M	—	15回		
	復水器ホップ3A電動機	分解点検	G4	78M	—	15回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	復水器ホップ3B	潤滑油入替		26M	—	15回		
	復水器ホップ3B	分解点検	G4	78M	—	11回		
	復水器ホップ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	11回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	復水器ホップ3C	潤滑油入替		26M	—	15回		
	復水器ホップ3C	分解点検	G4	78M	—	13回		
	復水器ホップ3C電動機	分解点検	G4	78M	—	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	復水器真空ポンプ3A	潤滑油入替		26M	—	15回		
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M	○	11回		(振動診断:1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M	○	7回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	14回		(振動診断:1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M	—	14回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
復水器過器3号	開放点検	G3	104M	○	8回	124 2次系容器検査		
循環水ホップ3A	分解点検	G3	39M	○	13回		(潤滑油診断:1C)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する 熱交換器〕	循環水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	○	13回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M	○	13回		
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M	—	15回		(潤滑油診断:1C)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M	—	15回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M	—	15回		
	復水器真空ポンプセパレーター/タンク3A逃がし弁 3V-BS-657A	機能・性能試験	G4	10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	8回		
		漏えい試験		10C	—	8回	123 2次系安全弁検査	
	復水器真空ポンプセパレーター/タンク3B逃がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	—	9回	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	9回		
		漏えい試験		10C	—	9回	123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン〔復水器〕 その他機器 一式	分解点検	G3	CBM	—	8回		(振動診断:1C〔復水器真空空 抜ポンプ,復水器真空空抜ポンプ 電動機〕)
	湿分離加熱器3A	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(GOV側蒸気室)		104M	—	9回	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検(胴側蒸気室)		52M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査	
	非破壊試験		104M	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
	漏えい試験		8C	—	15回	128 蒸気タービン開放検査		
湿分離加熱器3B	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	○	8回	128 蒸気タービン開放検査		
	開放点検(GOV側蒸気室)		104M	—	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	開放点検(胴側蒸気室)		52M	○	12回	128 蒸気タービン開放検査		
	非破壊試験		104M	○	14回	128 蒸気タービン開放検査		
	漏えい試験		8C	○	8回	128 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
機器又は系統名	脱気器3A	開放点検	G3	104M	—	14回	124 2次系容器検査	
		開放点検	G3	104M	—	15回	124 2次系容器検査	
		開放点検	G3	26M	—	15回	124 2次系容器検査	
	脱気器3B	開放点検	G3	130M	—	7回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		10C	—	7回	125 2次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	脱気器3C	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	14回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	14回	125 2次系熱交換器検査	
第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	26M	—	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
	非破壊試験		26M	—	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
	漏えい試験		2C	—	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	26M	○	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
	非破壊試験		26M	○	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
	漏えい試験		2C	○	15回	125 2次系熱交換器検査	有効性評価No.2の反映	
第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	—	15回	125 2次系熱交換器検査		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設 備並びに給水処理設 備]	第4低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査	〔 〕内は適用する 設備診断技術		
		非破壊試験		52M	—	15回	125 2次系熱交換器検査			
		漏えい試験		4C	—	15回	125 2次系熱交換器検査			
	第4低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	○	15回	125 2次系熱交換器検査			
		非破壊試験		52M	○	15回	125 2次系熱交換器検査			
		漏えい試験		4C	○	15回	125 2次系熱交換器検査			
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の弁 一式	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の機器 一式	分解点検 他	G4	52M~ 65M	—	15回		一部BDMあり	
			開放点検 他	G4,G5	104M	—	12回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設 備並びに給水処理設 備]	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	23 補助給水系機能検査		
			機能・性能試験	G3	10C	—	13回	121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)		
			分解点検		130M	—	13回	24 補助給水系ポンプ分解検査		
		電動補助給水ポンプ3A	電動補助給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	—	13回	24 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
				潤滑油入替	G3	26M	○	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		電動補助給水ポンプ3B	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M	—	15回	24 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
				潤滑油入替	G3	26M	—	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
蒸気タービン附属設備		復水ポンプ3A	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	15回	142 蒸気タービン附属設備機能検査		
			分解点検	G4	117M	—	12回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)		
復水ポンプ3A電動機		復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M	—	12回	(振動診断:1M)		
			分解点検	G4	117M	—	13回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)		
復水ポンプ3B電動機		復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	12回	(振動診断:1M)		
	分解点検		G4	117M	—	13回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)			
復水ポンプ3B電動機	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M	—	14回	(振動診断:1M)			
		分解点検	G4	117M	—	14回	(振動診断:1M)			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	復水アースポンプ3C	分解点検	G4	117M	-	11回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水アースポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M	-	13回		(振動診断:1M)
	給水アースポンプ3A	分解点検	G3	78M	-	12回		
	給水アースポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M	-	15回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		13M	○	15回		
	給水アースポンプ3B	分解点検	G3	78M	-	14回		
	給水アースポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M	-	14回		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		13M	○	15回		
	給水アースポンプ3C	分解点検	G3	104M	-	15回	120 2次系ポンプ分解検査	
	給水アースポンプ3C電動機	分解点検	G3	104M	-	13回		(振動診断:6M, 潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		52M	○	15回		
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M	○	7回	120 2次系ポンプ分解検査	(振動診断:6M, 潤滑油診断:1C)
		ロータ精密点検		260M	○	-	120 2次系ポンプ分解検査	16回にて初回点検を計画
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M	-	13回		(振動診断:6M)
	タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	6C	-	14回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	主給水ポンプタービン3A	分解点検		78M	-	14回		
		機能・性能試験	G3	4C	-	13回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	-	13回	120 2次系ポンプ分解検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M	-	15回		
	タービン動主給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C	-	11回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
		分解点検		78M	-	11回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕 〔 設備診断:1M〕
	主給水ポンプタービン3B	機能・性能試験	G3	4C	○	12回	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	○	12回	120 2次系ポンプ分解検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M	—	15回		
	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M	—	15回		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	○	12回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	○	12回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	○	12回	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	—	13回	125 2次系熱交換器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	—	15回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	○	11回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	—	7回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	—	8回	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	—	14回	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水 設備並びに給水処理設備〕 その他機器 一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 195M	○	15回	(振動診断:1M)〔アンモニア注入ポンプ 電動機、希トラン注入ポンプ電動 機〕 (振動診断:1C)〔濃トラン注入ボ ンプ電動機、予備薬注入ポンプ電動 機〕 (振動診断:1C、潤滑油診断: 1C)〔蒸気発生器水張ポンプ〕 (振動診断:1C、潤滑油診断: 2C)〔蒸気発生器水張ポンプ電動 機〕	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主な配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽 気系統)一式	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	○	15回	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。		
		目視点検		1C	○	15回	128 蒸気タービン開放検査			
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	2次系配管等※2(上記以外の主蒸気系統・ 再熱蒸気系統・抽気系統・復水系統・給水 系統・トリウム系統・その他)の系統一式 ※2 配管の他、ポンプ・熱交換器、弁等を含む	非破壊試験	G3	※1	○	15回	126 2次系配管検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。		
		外観点検		1C	○	15回	126 2次系配管検査			
		開放点検 他	G3,G4	52M~ 104M	-	15回				
		機能・性能試験		G1,G3	1C	○	15回	55 総合負荷性能検査	定検起動後	
		原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	蒸気タービンおよびその附属設備	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	一部定検起動後
				機能・性能試験		1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査	一部アラート運転中
				機能・性能試験	G3	13M	○	15回	122 2次系弁検査	
				分解点検(弁本体)		78M	○	13回		
				機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査	
				分解点検(弁本体)		13M	○	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中
分解点検(駆動部)	78M			○	13回					
機能・性能試験	G3			1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3B	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3C	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3D	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3E	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3F	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3G	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3H	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3I	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3J	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3K	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3L	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3M	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3N	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3O	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3P	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3Q	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3R	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3S	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3T	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3U	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3V	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3W	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3X	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3Y	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	-	15回	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 配管等]	主蒸気ガンブ弁3Z	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		78M	○	13回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕		
主蒸気ガンブ弁3E	3TCV-500E	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査	一部プラント運転中		
		分解点検(弁本体)		52M	—	14回	122 2次系弁検査			
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回				
		クアントハッキン取替		13M	○	15回				
	主蒸気ガンブ弁3F	3TCV-500F	機能・性能試験	G3	1C	○	15回		61 主蒸気ガンブ弁機能検査	
			分解点検(弁本体)		52M	—	14回		122 2次系弁検査	
			分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
			クアントハッキン取替		13M	○	15回			
	主蒸気ガンブ弁3G	3TCV-500G	機能・性能試験	G3	1C	○	15回		61 主蒸気ガンブ弁機能検査	
			分解点検(弁本体)		52M	—	15回		122 2次系弁検査	
			分解点検(駆動部)		78M	○	13回			
			クアントハッキン取替		13M	○	15回			
主蒸気ガンブ弁3H	3TCV-500H	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	61 主蒸気ガンブ弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		52M	—	15回	122 2次系弁検査			
		分解点検(駆動部)		78M	○	13回				
		クアントハッキン取替		13M	○	15回				
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他の弁 一式 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他機器 一式 制御棒ガラス	48体	機能・性能試験	G3, G4	13M~ 390M	○	15回	122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査	一部プラント運転中		
		分解点検 他		G3, G4	13M~ 390M	○	15回			
		分解点検 他		G2~G4	13M~ 260M	○	15回			
		機能・性能試験		G2	1C	○	15回		106 制御棒ガラス動作検査	
	制御棒ガラス ハータブルイオン フアキンゲンハイ 2次中性子源	48体 ※ 一式 ※ 一式 ※ 一式	外観点検	G3	1C	○	15回		107 制御棒ガラス検査	※ 炉心設計による

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	48本 制御棒駆動系 制御棒駆動用電源M-Gセット3A 発電機 制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機 制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機 制御棒駆動用電源M-Gセット3B 発電機 制御棒駆動用電源M-Gセット3B 電動機 計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕 その他機器一式	機能・性能試験	G2	1C	○	15回	30 制御棒駆動系機能検査	〔( )内は適用する 設備診断技術〕
		機能・性能試験		1C	○	15回	106 制御棒フラスタ動作検査	
		分解点検	G3	39M	—	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
		潤滑油入替		26M	○	14回		
		分解点検	G3	39M	—	15回	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
		分解点検		39M	—	14回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
		潤滑油入替	G3	26M	○	14回		
		分解点検		39M	—	14回	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
		特性試験 他	G3	13M~ 52M	○	15回		
		計測制御系統施設 〔ほう酸ポンプ3A ほう酸ポンプ3B, ほう酸ポンプ3A ほう酸ポンプ3B電動機 1次系補給水ポンプ3A 1次系補給水ポンプ3A電動機	ほう酸ポンプ3A ほう酸ポンプ3B, ほう酸ポンプ3A ほう酸ポンプ3B電動機 1次系補給水ポンプ3A 1次系補給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	1C	○	15回
分解点検	156M			—		7回	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
メカニカルシール取替	G3			156M	—	13回		(振動診断:1M)
分解点検				156M	—	11回		
機能・性能試験	G3			1C	○	15回	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
分解点検				156M	—	8回	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	
メカニカルシール取替	G3			156M	—	13回		(振動診断:1M)
分解点検				156M	—	13回		
機能・性能試験	G3			10C	—	13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
分解点検				130M	—	13回		
機能・性能試験	G3	6C	—	14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)		
分解点検		78M	—	14回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術〕 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	1次系補給水ポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	— —	13回 13回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	1次系補給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	— —	14回 14回	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	ほう酸タンク3A	開放点検	G3	195M	—	14回		
	ほう酸タンク3B	開放点検	G3	195M	—	15回		
	1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M	○	9回		
	ほう酸タンク3号	開放点検	G3	130M	—	9回		
	計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	26M~ 195M	○	15回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
	計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕 その他機器一式	漏えい試験	G3	10VP	—	15回		
	制御用空気圧縮機3A	機能・性能試験 部分点検	G2	1C	○	15回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断:1M)
	制御用空気圧縮機3A電動機	部分点検		13M	○	15回		
	制御用空気圧縮機3B	分解点検	G3	26M	—	15回		
	制御用空気圧縮機3B電動機	機能・性能試験 部分点検	G2	130M	—	13回		(振動診断:1M)
	制御用空気圧縮機3B	機能・性能試験 部分点検	G2	1C	○	15回	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断:1M)
	制御用空気圧縮機3B電動機	部分点検		13M	○	15回		
	制御用空気圧縮機3B	分解点検	G3	26M	○	15回		
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3	130M	—	13回		(振動診断:1M)	
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 312M	○	15回	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査		
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 その他機器一式	分解点検 他	G2,G3	13M~ 52M	○	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
計測制御系統施設 [その他設備]	1.原子炉保護系ロッキング回路 2.安全防護系ロッキング回路	27回路 34回路	G2	1C	○	15回	33 安全保護系機能検査		
	1.原子炉トリップ,工学的安全施設の始動,原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器,設定器及び保護継電器 (1)1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器(保護継電器含む) (2)核計装装置 設定器 2.重要な指示計器 (1)1次冷却材等計測装置 中央指示計 現場指示計 現場記録計 (2)核計装装置 中央指示計 現場記録計	55個 132個 20個 16個 9個 4個 8個 1個	G1~G4	13M	○	15回	34 安全保護系設定値確認検査		
	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	7個 20個 9個 10個	G2,G4	13M	○	15回	35 フラント状態監視設備機能検査		
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	G3	13M	○	15回	35 フラント状態監視設備機能検査		
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式		G2,G3	1C	○	15回	71 計測制御系機能検査		
	1.1次系計測制御装置 一式 2.2次系計測制御装置 一式 炉外核計測装置 1.鍋源領域計測装置 2.中間領域計測装置 3.出力領域計測装置	2台 2台 4台	G1~G4	12M~ 104M	○	15回	72 計測制御系監視機能検査		一部フラント運転中
	炉内核計測装置 一式		G1,G2	13M~ 26M	○	15回	105 核計装設備検査		一部起動後
	制御棒位置指示装置	48個	G2	13M	○	15回	105 核計装設備検査		
	IISソフウェア	50本	G3	78M	—	15回	108 制御棒位置指示装置設定値検査 109 炉内計装用ソフウェア体積検査		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検査回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
計測制御系統施設 [発電用原子炉の運転を管理するための制御装置]	ハーフシフトロッキング回路 5回路 2回路 1.原子炉保護系ロッキング関連 2.安全保護系ロッキング関連	機能・性能試験	G2	1C	○	15回	110 安全保護系機能検査(ハーフシフトロッキング検査)	
	総合化カーロック 1.原子炉トリップによるカーロック、発電機トリップ検査 2.カーベントリップによる原子炉、発電機トリップ検査 3.発電機トリップによる原子炉、カーベントリップ検査	機能・性能試験	G1~G3	1C	○	15回	112 総合インターローック検査	
	計測制御系統施設 その他機器 一式	単体調整試験 他	G1~G5	12M~169M	○	15回		一部プラント運転中 一部BDMあり
計測制御系統外原子炉停止盤補機操作回路	44回路	機能・性能試験	G2	1C	○	15回	73 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備] 一式	開放点検	G3,G5	216M	—	2012年		プラント運転中 一部BDMあり
	ガス圧縮装置	機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	1C	○	15回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮装置 電動機	分解点検	G4	78M~156M	○	13回		(振動診断:1C、潤滑油診断:2C)
	ガス圧縮装置 電動機	分解点検	G4	130M	—	12回		
	水素再結合ガス圧縮装置	機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	1C	○	15回	42 気体廃棄物処理系機能検査	(振動診断:1C、潤滑油診断:2C)
放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	水素ガス圧縮装置 電動機	分解点検	G4	104M~208M	—	11回		(振動診断:1C)
	水素再結合装置	機能・性能試験	G4	130M	—	11回		
	水素再結合装置	機能・性能試験	G4	1C	○	15回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ガス減圧タンク圧力制御弁	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ほう酸回収装置	機能・性能試験(電動部含む) 分解点検(弁本体)	G4	52M~144M	○	15回	84 1次系弁検査	
	廃液蒸発装置	分解点検(電動部)	G4	12Y	○	2022年		
放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ほう酸回収装置	機能・性能試験	G4	52M	—	15回		
	廃液蒸発装置	機能・性能試験	G4	2Y	—	2022年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中
			G4	2Y	—	2022年	64 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	ガス圧縮装置3A気水分離器破蔵板	分解点検	G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	ガス圧縮装置3B気水分離器破蔵板	分解点検	G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破蔵板	分解点検	G4	195M	—	14回	88 1次系破蔵板検査	
	水素再結合装置破蔵板	分解点検	G4	195M	—	15回	88 1次系破蔵板検査	
	モニタポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	モニタポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	モニタポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	モニタポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1998年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	廃液蒸留水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	-	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	1998年		
	廃液蒸留水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	-	-	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	-	-		
	廃液蒸留水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	2002年		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	-	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	-	1995年		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	-	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	1995年		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	-	-	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	-	-		
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	-	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	1996年		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	-	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	-	1998年		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	-	1998年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	1998年		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	-	-	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	-	-		
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2002年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	-	2002年		

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	強酸ポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (へアリングモーターにより監視) 分解未実施
		分解点検		CBM	—	—	—	
	格納容器冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	—	7回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		195M	—	7回	—	
	格納容器冷却材ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	—	11回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M	—	11回	—	
	格納容器冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	—	3回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		195M	—	3回	—	
	格納容器冷却材ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	—	14回	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M	—	14回	—	
	格納容器ポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	—	15回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	15回	—	
	格納容器ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	—	15回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	—	15回	—	
	格納容器ポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	—	15回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	15回	—	
	格納容器ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	—	15回	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M	—	15回	—	
	補助建屋サブタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年	—	
	補助建屋サブタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年	—	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	補助建屋サブタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C) 分解未実施
		分解点検		CBM	—	—	—	
	補助建屋サブタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年	—	
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	1995年	—	
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1995年	—	
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	—	—	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM	—	—	—	
	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年	—	
	セメント固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	—	2022年	115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	フロント運転中
		分解点検 他		G3,G4	52M~195M	○	15回	
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁 一式	開放点検 他	G3~G5	12M~444M	○	2022年	—	一部フロント運転中 一部BDMあり
		機能・性能試験 他		G4	5Y	—	2019年	
放射性廃棄物の廃棄施設〔原子炉格納容器本体外の廃棄物処理設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器 一式	機能・性能試験 他	G4	52M~60M	—	15回	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	一部フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	格納容器高圧モニタ	4個 特性試験	G2	13M	○	15回	63-2 エリアモニタ機能検査	
	1.エリアモニタ 2.プロセスモニタ	15台 22台 特性試験	G2~G4	13M	○	15回	76 放射線監視装置機能検査	
	モニタリングステーション及びモニタリングポスト専用の無線伝送装置	5台 機能・性能試験	G4	2Y	○	2022年	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕 その他機器一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M~ 65M	○	15回		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	G3,G4	1C	○	15回	40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験	G3	-	-	7回		
		分解点検		156M	-	7回		
	中央制御室再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	-	14回		(振動診断:1M)
		分解点検		78M	-	14回		
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験	G3	-	-	3回		
	分解点検		156M	-	15回			
中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回		(振動診断:1M)	
	分解点検		78M	○	13回			
中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験	G3	-	-	7回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		195M	-	7回			
中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	-	14回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		78M	-	14回			
中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験	G3	-	-	9回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		195M	-	9回			
中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	○	13回		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		78M	○	13回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
機器又は系統名	中央制御室非常用給気ファン3A	分解点検	G3	390M	-	1回		(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	-	11回		(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3B	分解点検	G3	390M	-	2回		(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	-	12回		(振動診断:1M)	
	中央制御室空調ユニット3A	開放点検	G3	78M	-	15回			
	中央制御室空調ユニット3B	開放点検	G3	78M	-	15回			
	中央制御室非常用給気ファンユニット3号		機能・性能試験(正ノ素除去効 率)	G3	1C	○	15回	41 中央制御室非常用循環系ファン性能検査	
			機能・性能試験(備えい率)		1C	○	15回	41 中央制御室非常用循環系ファン性能検査	
			機能・性能試験		-	-	1回		
			開放点検		390M	-	1回		
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	-	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)	
	格納容器給気ファン3A電動機		分解点検		CBM	-	1995年		
			機能・性能試験	G4	B	-	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
			分解点検		CBM	-	2016年		フラット運転中
			機能・性能試験	G4	B	-	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	-	1999年			
格納容器給気ファン3B電動機		分解点検		CBM	-	1999年			
		機能・性能試験	G4	B	-	2011年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
		分解点検		CBM	-	2011年		フラット運転中	
		機能・性能試験	G4	B	-	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
格納容器非気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	-	1996年				
格納容器非気ファン3A電動機		分解点検		CBM	-	1996年			
		機能・性能試験	G4	B	-	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
		分解点検		CBM	-	2016年		フラット運転中	
		機能・性能試験	G4	B	-	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2000年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2000年		
	格納容器排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM	—	2012年	ファン運転中	
	格納容器再循環ファン3A	分解点検	G4	156M	—	13回		
		分解点検	G4	52M	—	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器再循環ファン3B	分解点検	G4	156M	—	6回		
		分解点検	G4	52M	—	14回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器再循環ファン3B電動機	分解点検	G4	156M	—	13回		
		分解点検	G4	52M	—	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器再循環ファン3C	分解点検	G4	156M	—	6回		
		分解点検	G4	52M	—	14回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器再循環ファン3C電動機	分解点検	G4	156M	—	6回		
		分解点検	G4	52M	—	14回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	156M	—	6回		
		分解点検	G4	52M	—	14回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)	
	格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	1995年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1995年		
	格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1996年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1996年		
	格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	—	1999年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM	—	1999年		
	補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	○	2001年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		22Y	○	2001年	ファン運転中	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2019年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		22Y	—	2004年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y	—	2018年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2013年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	—	2019年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2014年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2020年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	—	2020年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2016年		ファン運転中
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	6Y	○	2017年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	○	2017年		ファン運転中
	燃料取扱建屋空浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検						
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		15Y	—	2011年		ファン運転中
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2019年		ファン運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		15Y	—	2014年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2022年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2022年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2011年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2019年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2018年		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y	—	2018年		ファン運転中
	ベイ排気ファン3号	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モーダの振動により解析)
		分解点検		CBM	—	—		分解未実施
	ベイ排気ファン3号電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2004年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y)
		分解点検		CBM	—	2004年		
	セメント固化装置オフガスファン3A	機能・性能試験	G4	5Y	○	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		5Y	○	2018年		ファン運転中
	セメント固化装置オフガスファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2001年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM	—	2001年		
	セメント固化装置オフガスファン3B	機能・性能試験	G4	5Y	—	2021年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		5Y	—	2021年		ファン運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	セント固化粧装置オフガスファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2002年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	-	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中
		分解点検		7Y				
	廃棄物処理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	-	2022年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y				
	廃棄物処理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	-	2014年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中
		分解点検		7Y				
	廃棄物処理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	-	2021年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y				
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	-	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2015年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	-	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2016年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	-	2013年	77 1次系換気空調設備検査	ファン小運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	-	2007年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM				
	換気空調設備のその他のファン一式	機能・性能試験	G3,G4	12M~ 260M	○	15回	一部ファン小運転中	
		分解点検		7Y				
	格納容器給気ユニット3A	開放点検	G4	7Y	-	2021年	ファン小運転中	
		開放点検		7Y				
	格納容器給気ユニット3B	開放点検	G4	7Y	-	2021年	ファン小運転中	
		開放点検		7Y				

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	格納容器排気7ILクエニツク3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y	—	2015年		プラント運転中
	格納容器排気7ILクエニツク3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	2016年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y	—	2016年		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Aハンク側)	開放点検	G4	7Y	—	2022年		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Bハンク側)	開放点検	G4	7Y	—	2022年		プラント運転中
	補助建屋排気7ILクエニツク3A	機能・性能試験	G4	18Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	補助建屋排気7ILクエニツク3B	機能・性能試験	G4	18Y	—	2013年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室給気ユニット3号	開放点検	G4	7Y	—	2021年		プラント運転中
	放射線管理室排気7ILクエニツク3A	機能・性能試験	G4	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気7ILクエニツク3B	機能・性能試験	G3	15Y	—	2011年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	ヘイ排気7ILクエニツク3号	機能・性能試験	G4	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	廃棄物処理室排気7ILクエニツク3号(Aハンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室排気7ILクエニツク3号(Bハンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	—	2012年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	格納容器空気浄化7ILクエニツク3号	機能・性能試験	G3	B	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	格納容器減圧排気7ILクエニツク3号	機能・性能試験	G4	15C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M	—	3回		
	セメント装置オフガス7ILクエニツク3A	機能・性能試験	G4	5Y	○	2021年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	セメント装置オフガス7ILクエニツク3B	機能・性能試験	G4	5Y	○	2021年	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	中央制御室	漏えい試験	高	6YP	—	15回	139 中央制御室の居住性確認検査	
	外観点検(貫通部)		1C	○	15回			
クラン(クラン・ホーク、防火タンク、手動クラン ハ巻付)一式	機能・性能試験	G3,G4	13M~ 264M	○	15回	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M~ 195M	○	15回	85 1次系安全弁検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他AM弁 一式	分解点検	G3	195M	—	3回		
	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他機器 一式	分解点検 他	G2~G4	12M~ 300M	○	15回		一部プラント運転中
	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	—	15回	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	通常用エアロック	1個 漏えい率試験	G3	2C,3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M	—	14回		
		部分点検		1C	○	15回		
	非常用エアロック	1個 漏えい率試験	G3	2C,3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		130M	○	6回		
		部分点検		1C	○	15回		
	格納容器機器搬入口	1個 漏えい率試験	G3	2C,3C	○	15回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		開放点検		13M	○	15回		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管 フアン部) 一式	漏えい率試験	G3	2C,3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電気記録用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C,3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管 フアン部)及び電気記録用貫通部 一式	開放点検	G3	13M~ 104M	○	15回		
	原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C,3C	○	14回	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
格納容器隔離(T-V信号及びT+UV信号)に より隔離される弁	65個 機能・性能試験	G3	1C	○	15回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
格納容器隔離(P-V信号)により隔離される 弁	16個 機能・性能試験	G3	1C	○	15回	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
格納容器冷却材トレッドポンプ出口ライン第1隔 離弁3号	3LCV-1000 分解点検(弁本体)	G3	130M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		52M	—	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
SG-3A	SG-3Aポンプアップ分離弁	3V-BD-009A	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)						
	SG-3Bポンプアップ分離弁	3V-BD-009B	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
	SG-3Cポンプアップ分離弁	3V-BD-009C	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
	SG-3Aローダウン分離弁	3V-BD-030A	G3	78M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
	SG-3Bローダウン分離弁	3V-BD-030B	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
分解点検(駆動部)								
分解点検(弁本体)								
SG-3Cローダウン分離弁	3V-BD-030C	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(弁本体)							
C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁	3V-CC-189A	G3	156M	-	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(弁本体)							
	分解点検(駆動部)							
C/V再循環ユニット3C,3D冷却水入口隔離弁	3V-CC-189B	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(電動機)							
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198A	G3	195M	-	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(弁本体)							
	分解点検(駆動部)							
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	G3	130M	○	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(電動機)							
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198A	G3	156M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(弁本体)							
	分解点検(駆動部)							
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	G3	130M	-	8回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)							
	分解点検(電動機)							
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁	3V-CC-198A	G3	195M	-	4回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(弁本体)							
	分解点検(電動機)							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕	
C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	12回			
		分解点検(電動機)		195M	-	4回			
	3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	156M	○	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回			
		分解点検(電動機)		195M	-	5回			
	3V-CC-198D	分解点検(弁本体)	G3	156M	○	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回			
		分解点検(電動機)		195M	-	5回			
	CRDMおよび余剰抽出クーラ冷却水入口隔離弁3号	3V-CC-342	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	9回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M	-	9回		
			分解点検(電動機)		195M	-	5回		
3V-CC-349		分解点検(弁本体)	G3	156M	-	6回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	13回			
		分解点検(電動機)		195M	-	5回			
RCP冷却水入口第2隔離弁3号	3V-CC-401	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	8回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	8回			
		分解点検(電動機)		195M	-	5回			
	3V-CC-403	分解点検(弁本体)	G3	156M	-	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M	-	10回			
		分解点検(電動機)		195M	-	5回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
	RCP冷却水出口第1隔離弁3号	3V-CC-427	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(駆動部)							
	RCP冷却水出口第2隔離弁3号	3V-CC-429	G3	156M	—	7回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(電動機)							
	DRP冷却水出口3号入口隔離弁	3V-CH-404	G3	104M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(駆動部)							
	DRP冷却水出口3号出口隔離弁	3V-CH-410	G3	78M	○	13回			
		分解点検(駆動部)							
		クランプ・ギヤン取替							
	抽出オリフイス隔離弁3A	3V-CS-004A	G3	52M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(駆動部)							
抽出オリフイス隔離弁3B	3V-CS-004B	G3	78M	—	14回				
	分解点検(弁本体)								
	分解点検(駆動部)								
抽出オリフイス隔離弁3C	3V-CS-004C	G3	52M	—	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検(弁本体)								
	分解点検(駆動部)								
抽出オリフイス隔離弁3号	3V-CS-007	G3	78M	—	14回				
	分解点検(弁本体)								
	分解点検(駆動部)								
封水戻りライン第1隔離弁3号	3V-CS-213	G3	104M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検(弁本体)								
	分解点検(駆動部)								
			G3	52M	—	15回			
				52M	—	15回			
				クランプ・ギヤン取替					
			G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
				130M	—	10回			
				195M	—	8回			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕		
封水戻ライン第2隔離弁3号	3V-CS-214	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		130M	—	10回				
		分解点検(電動機)		195M	—	4回				
	格納容器減圧装置第1隔離弁3号	3V-DP-001	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)		52M	—	15回			
			分解点検(弁本体)		130M	—	14回			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号	3V-DP-002	分解点検(弁本体)	G3	52M	—	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)		52M	—	15回			
			分解点検(電動機)		52M	—	15回			
	消火系統格納容器隔離弁3号	3V-FS-503	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)		52M	—	15回			
			クアントバッキン取替		52M	—	15回			
制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁	3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回				
		分解点検(電動機)		195M	—	4回				
制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁	3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		130M	—	13回				
		分解点検(電動機)		195M	—	5回				
炉内核計装置ガスハバシライン第2隔離弁3号	3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	11回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回				
		分解点検(電動機)		130M	—	14回				
炉内核計装置ガスハバシライン第1隔離弁3号	3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	—	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		52M	—	14回				
		分解点検(電動機)		26M	—	15回				
加圧器逃がしタンクガス分析ライン第1隔離弁3号	3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	104M	—	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検(駆動部)		104M	—	13回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕	
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第2隔離弁3号	3V-RC-078	G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(駆動部)							
	加圧器逃がしタンク窒素隔離弁3号	3V-RC-084	G3	104M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(駆動部)							
	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号	3V-RC-095	G3	52M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		クアントハッキン取替							
		分解点検(弁本体)							
	格納容器空気モニタリング第1隔離弁3号	3V-RM-001	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)							
		クアントハッキン取替							
	格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号	3V-RM-002	G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)							
		分解点検(電動機)							
格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号	3V-RM-018	G3	104M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検(駆動部)								
	分解点検(弁本体)								
安全注入テストライン第1戻り弁3号	3V-SI-144	G3	52M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検(駆動部)								
	クアントハッキン取替								
蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号	3V-SI-145	G3	104M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検(弁本体)								
	分解点検(駆動部)								
安全注入テストライン第2戻り弁3号	3V-SI-147	G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	分解点検								
	分解点検(駆動部)								
			G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
				104M	-	15回			
				52M	-	14回			
				104M	-	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
	蓄圧タンク窒素隔離弁3号	3V-SI-165	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
	加圧器気相部分アブリング隔離弁3号	3V-SS-503	G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
	加圧器液相部分アブリング隔離弁3号	3V-SS-523	G3	26M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
	ループ3A高温側および加圧器アブリング隔離弁	3V-SS-524	分解点検(弁本体)	G3	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)					
			分解点検(駆動部)					
			分解点検(弁本体)					
			分解点検(駆動部)					
			分解点検(電動機)					
ループ3A高温側アブリング隔離弁	3V-SS-543A	分解点検(弁本体)	G3	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
ループ3B高温側アブリング第1隔離弁	3V-SS-543B	分解点検(弁本体)	G3	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
ループ3B高温側アブリング第2隔離弁	3V-SS-544	分解点検(弁本体)	G3	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
蓄圧タンク3Aアブリング隔離弁	3V-SS-563A	分解点検(弁本体)	G3	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
蓄圧タンク3Bアブリング隔離弁	3V-SS-563B	分解点検(弁本体)	G3	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						
蓄圧タンク3Cアブリング隔離弁	3V-SS-563C	分解点検(弁本体)	G3	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(弁本体)						
		分解点検(駆動部)						
		分解点検(電動機)						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕	
	蓄圧タンクアクリル隔離弁3号	分解点検(弁本体)	G3	78M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M	-	14回			
	格納容器真空逃がし装置3A隔離弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	10回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回			
	格納容器真空逃がし装置3B隔離弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回			
	格納容器真空逃がし弁3A	機能・性能試験	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能 検査 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(弁本体)		156M	-	10回		
			分解点検(駆動部)		156M	-	14回		
			機能・性能試験		1C	○	15回		
	格納容器真空逃がし弁3B	機能・性能試験	機能・性能試験	G3	156M	-	10回	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能 検査 46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(弁本体)		156M	-	14回		
			分解点検(駆動部)		156M	-	14回		
			機能・性能試験		1C	○	15回		
	格納容器冷却材トレンクアップ出口ライン第2隔 離弁3号	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
分解点検(駆動部)				52M	-	15回			
格納容器冷却材トレンクガス分析ライン第1 隔離弁3号	分解点検(弁本体)	G3	52M	-	14回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
			分解点検(駆動部)	104M	-			14回	
格納容器冷却材トレンクガス分析ライン第2 隔離弁3号	分解点検(弁本体)	G3	52M	-	15回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
			分解点検(駆動部)	104M	-			15回	
格納容器冷却材トレンクベント第1隔離弁3 号	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
			分解点検(駆動部)	52M	-			14回	
格納容器冷却材トレンクベント第2隔離弁3 号	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
			分解点検(駆動部)	104M	-			15回	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他 の安全設備]	格納容器冷却材ポンプ3号 3V-WL-090	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	有効性評価No.3の反映 [対象設備] ・フェニクスノール
		分解点検(駆動部)		104M	-	15回		
		格納容器サブポンプ出口第1隔離弁3号 3V-WL-124	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	
	格納容器サブポンプ出口第2隔離弁3号 3V-WL-125	分解点検(駆動部)		52M	-	15回		
		分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M	-	15回		
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式 原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他機器一式	開放点検 他	G3	13M~ 390M	○	15回	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	
		開放点検	G3	1C	○	15回		
		機能・性能試験	G3	1C	○	15回	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイ冷却器3A	開放点検	G3	195M	-	14回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	-	14回	91 1次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	195M	-	15回	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイ冷却器3B	開放点検	G3	195M	-	15回	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	-	15回	91 1次系熱交換器検査	
		分解点検	G3	195M	-	14回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査	
格納容器スプレイポンプ3A	分解点検	G3	130M	-	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)		
	潤滑油入替		26M	-	15回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)		
	分解点検	G3	195M	-	13回	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査		
格納容器スプレイポンプ3B	分解点検	G3	130M	-	13回	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)		
	潤滑油入替		26M	○	15回			
	開放点検	G3	390M	-	-	89 1次系容器検査		
よう素除去薬品タンク3号	開放点検	G3	390M	-	-	30回にて初回点検を計画		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕	
	格納容器スプレッドポンプ3A入口弁	3V-CP-001A	G3	156M	-	13回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査		
		分解点検(弁本体)		130M	-	13回			
				195M	-	6回			
		3V-CP-001B		分解点検(弁本体)	156M	-	11回		50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査
					130M	-	13回		
		3V-CP-021A		分解点検(電動機)	195M	-	6回		
	156M		-		13回				
	格納容器スプレッドポンプ3B入口弁	3V-CP-001B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	12回		
					195M	-	4回		
					156M	○	13回		50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査
					130M	-	13回		
					195M	-	4回		
156M					-	8回	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査		
よう素除去薬品クック出口第1弁3A	3V-CP-054A	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回			
				195M	-	4回			
				156M	-	7回			
				130M	-	13回			
				195M	-	7回			
				156M	-	7回		50 原子炉格納容器安全系主要弁分解 検査	
よう素除去薬品クック出口第1弁3B	3V-CP-054B	分解点検(弁本体)	G3	130M	-	13回			
				195M	-	6回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 390M	○	15回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
		分解点検	G3	130M	-	13回	86 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の 安全設備] その他AM弁一式	開放点検	G3	78M	-	15回	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検	G3	78M	-	15回	77 1次系換気空調設備検査	
	格納容器再循環ユニット3A	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	38 γ-エース循環排気系系機能検査	
		分解点検	G3	260M	-	5回		(振動診断:1M)
	γ-エース排気ファン3A	分解点検	G3	156M	-	11回		(振動診断:1M)
		分解点検	G3	260M	-	7回		(振動診断:1M)
	γ-エース排気ファン3B	分解点検	G3	156M	-	13回		(振動診断:1M)
		機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	○	15回	39 γ-エース循環排気系フィルタ性能検査	
	γ-エース排気ファンユニット3A	機能・性能試験(漏えい率)			○	15回	39 γ-エース循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験			-	3回	77 1次系換気空調設備検査	
	γ-エース排気ファンユニット3B	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	○	15回	39 γ-エース循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)			○	15回	39 γ-エース循環排気系フィルタ性能検査	
	γ-エース排気弁3A	機能・性能試験			-	3回	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検(弁本体)	G3	78M	-	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	
	γ-エース排気弁3B	分解点検(駆動部)			-	15回		
		分解点検(弁本体)	G3	78M	○	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	
	γ-エース排気弁3B	分解点検(駆動部)			○	15回		
		分解点検(弁本体)	G3	78M	-	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査	
γ-エース全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	-	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
	分解点検(駆動部)			-	15回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕	
	アエロラス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	14回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	14回			
	アエロラス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	15回			
	アエロラス少量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	15回			
	アエロラス戻り弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	15回			
	アエロラス戻り弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	—	15回	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分 解検査		
		分解点検(駆動部)		78M	—	15回			
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	77 1次系換気空調設備検査		
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	260M	—	6回			(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M	—	13回			(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	260M	—	7回			(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M	—	12回			(振動診断:6M)
安全補機室排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G3	20C	—	3回	77 1次系換気空調設備検査			
タンパ(パンホーレクター含む) 一式	開放点検	G3	260M	—	3回				
	機能・性能試験		13M~ 144M	○	15回	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中		
原子炉格納施設(圧力低減設備その他の 安全設備) その他機器 一式	開放点検 他	G3	390M	—	—	89 1次系容器検査	[対象設備] ・PH調整剤貯蔵タンク 30回にて初回点検を計画		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉施設 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象)一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	非破壊試験	G1,G3	10YP	○	15回	1 クラス1機器供用期間中検査	クラス1機器供用期間中検査10年 計画[別紙-1]
	クラス2機器(供用期間中検査対象)一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	漏えい試験	G3	1C	○	15回		
	クラス2機器(供用期間中検査対象)一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	非破壊試験		10YP	○	15回	5 クラス2機器供用期間中検査	クラス2機器供用期間中検査10年 計画[別紙-2]
	クラス3機器(供用期間中検査対象)一式	漏えい試験	G3	10YP	○	15回		
	クラス3機器(供用期間中検査対象)一式	非破壊試験		10YP	○	15回	104 クラス3機器供用期間中検査	クラス3機器供用期間中検査10年 計画[別紙-3] 一部プラント運転中
	クラス1機器Ni基金使用部位一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	非破壊試験	G3	5YP~ 10YP	-	15回	98 供用期間中特別検査のうちクラス1機 器Ni基金使用部位特別検査	クラス1機器Ni基金使用部位特 別検査10年計画[別紙-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内)一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	15回	98 供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内)特別検査	クラス2管(原子炉格納容器内)特別 検査10年計画[別紙-5]
	クラスC容器(供用期間中検査対象)機器搬 入口の圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、ナツ ト、ワッシャー、フランジ面)一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	○	13回	79 原子炉格納容器供用期間中検査	原子炉格納容器供用期間中検査 10年計画[別紙-6]
	レストレイント一式	外観点検	G3	10YP	-	15回	113 レストレイント検査	
	クラス2機器及びクラス3機器(供用期間中検査 対象外)、クラス4管の耐圧部並びに排気筒 一式	外観点検	G3	10YP	○	15回	103 構造健全性検査	格納容器排気筒、補助建屋排気 筒は5定検で100%検査 一部プラント運転中
	原子炉施設[その他設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	52M~ 260M	○	15回	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉施設[その他設備] その他AM弁一式	分解点検	G3	156M	-	13回		
	原子炉施設[その他設備] その他機器一式	機能・性能試験	G3	12M~ 13M	○	2022年		プラント運転中
	耐震クラスA,Bに属する支持構造物一式	外観点検	G1~G3	10YP	○	15回	102 耐震健全性検査	クラス1,2,3機器供用期間中検査対 象機器を除く
	その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 [非常用発電装置])	2台 48台	機能・性能試験 機能・性能試験	G3	1C	○	15回	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)
	安全注入信号および格納容器スプレイ信号 発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を 求める機器	機能・性能試験	G2~G4	1C	○	15回	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
	非常用ディーゼル発電機3A	分解点検	G3	52M	—	14回		(振動診断:6M)
	非常用ディーゼル発電機3B	分解点検	G3	52M	—	15回		(振動診断:6M)
	非常用ディーゼル機関3A	外観点検	G3	1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1C, 振動診断:6M, ディーゼル機関診断:6M)
		非常調速装置試験		1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁)	分解点検	G3	13M~104M	○	15回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	非常用ディーゼル機関3B	外観点検	G3	1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1C, 振動診断:6M, ディーゼル機関診断:6M)
		非常調速装置試験		1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		1C	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃料噴射弁)	分解点検	G3	13M~104M	○	15回	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	重油タンクA	開放点検	G3	156M	—	14回	124 2次系容器検査	
	重油タンクB	開放点検	G3	156M	—	14回	124 2次系容器検査	
	重油タンクC	開放点検	G3	156M	—	14回	124 2次系容器検査	
	ディーゼル発電機附属設備 一式	分解点検 他	G3,G4	13M~260M	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C)空気圧縮機,潤滑機) (振動診断:1M)潤滑油アライジングポンプ, 温水循環ポンプ,D/G潤滑油アライジングポンプ電動機) (振動診断:1M)燃料弁冷却水ポンプ,D/G燃料弁冷却水ポンプ電動機) (振動診断:1M)D/G燃料油移送ポンプ電動機)
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)〔非常用発電装置〕 その他弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M~390M	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)〔非常用発電装置〕 その他機器 一式	分解点検 他	G2~G4	13M~104M	○	15回	133 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の電源装置]	2組(60個/組) 蓄電池(非常用)	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
		蓄電池点検		13M	○	15回		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の機器]	4台 計装用電源装置	機能・性能試験 他	G3	13M	○	15回	111 イハハーク機能検査	
		電気試験 他	G3	13M~ 78M	○	15回		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の機器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	39M~ 96M	○	15回		
		特性試験 他	G3,G4	13M~ 78M	○	15回		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源設 備) [発電機]	発電機設備 一式	分解点検 他	G1,G3,G4	13M~ 130M	○	15回		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源設 備) [変圧器]	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	13M~ 195M	○	15回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源設 備) [しゃ断器]	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	26M~ 108M	○	15回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源設 備) [その他の機器]	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電 源設備) その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3,G4	12M~ 78M	○	15回		一部プラント運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラー]	補助ボイラー設備 一式	開放点検 他	G4	144M~ 216M※1	—	2022年	130 補助ボイラー開放検査※1 131 補助ボイラー性能検査※2 132 補助ボイラー設備検査※2	プラント運転中 (振動診断・6ML補助ボイラー給水ポン プ) ※1 前回の点検後の運転時間が 4000時間、又は起動回数が120回 に達すると見込まれる時期までに 定期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラー性能検査及び 設備検査は、補助ボイラー開放検 査に合わせて実施する。

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕	
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラ- ) [補助ボイラ-に属する燃 料燃焼設備]	燃料噴燃ポンプ3A	分解点検	G4	12Y	-	2016年	132 補助ボイラ-設備検査	ボイラ-運転中 (振動診断:6M)	
		機能・性能試験		12Y	-	2016年			
	燃料噴燃ポンプ3A電動機	分解点検	G4	CBM	-	2013年		(振動診断:6M)	
		機能・性能試験		B	-	2013年		電動機分解点検時に実施	
	燃料噴燃ポンプ3B	分解点検	G4	12Y	-	2016年		ボイラ-運転中 (振動診断:6M)	
		機能・性能試験		12Y	-	2016年		132 補助ボイラ-設備検査	
	燃料噴燃ポンプ3B電動機	分解点検	G4	CBM	-	2013年		(振動診断:6M)	
		機能・性能試験		B	-	2013年		電動機分解点検時に実施	
	燃料噴燃ポンプ3C	分解点検	G4	12Y	-	2016年		ボイラ-運転中 (振動診断:6M)	
		機能・性能試験		12Y	-	2016年		132 補助ボイラ-設備検査	
燃料噴燃ポンプ3C電動機	分解点検	G4	CBM	-	2013年		(振動診断:6M)		
	機能・性能試験		B	-	2013年		電動機分解点検時に実施		
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [消火設備]	消火ポンプ3A(電動)	機能・性能試験	G4	1Y	○	2022年		ボイラ-運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	
		分解点検		10Y	-	2016年		ボイラ-運転中または定検停止中	
	消火ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2022年		ボイラ-運転中または定検停止中	
		機能・性能試験		G3	1Y	○	2022年	ボイラ-運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 潤滑油診断:1Y)	
	消火ポンプ3B(ゲイゼルエンジン)	部分点検			1Y	○	2022年	ボイラ-運転中または定検停止中	
		機能・性能試験		G3	1Y	○	2022年	ボイラ-運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	
	消火ポンプ3B(ゲイゼル駆動)	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		ボイラ-運転中または定検停止中 (振動診断:1M)	
		分解点検			10Y	-	2021年	ボイラ-運転中または定検停止中	
	消火系統機器(AM機能範囲)一式	取替		G3	CBM	-	-		一部ボイラ-運転中 (巡視点検:1M)
		機能・性能試験		G3	12M~ 13M	○	2022年		一部ボイラ-運転中
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [その他設備]	防火ダンパ 一式	作動確認	G3,G4	130M~ 144M	-	2018年		ボイラ-運転中	
		分解点検		G3	130M	-	-		23回にて初回点検を計画
	煙等流入防止装置 一式				-	-	84 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) [外部浸水防護設備] [内部浸水防護設備]	可搬型排煙装置(中央制御室)	作動確認	G3	1C	○	15回		
	可搬型排煙装置(中央制御室)電動機	作動確認	G3	1C	○	15回		
	可搬型の排煙装置	分解点検(本体)		130M	—	—		22回にて初回点検を計画
	ほう酸ポンプ室耐火障壁	作動確認	G4	1C	○	15回		
	貫通部シール	外観点検	G4	1C	○	15回		
	その他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備)[その他設備] その他機器 一式	外観点検	G4	10C	—	—		17回にて初回点検を計画
	海水ポンプ/エア水密ハッチ 一式	特性試験 他	G4	12M~ 130M	○	2022年		一部プラント運転中
	海水ポンプ/エア水密扉 一式	開放点検	G3	26M	○	15回		
	原子炉補助建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2021年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y	○	2021年		プラント運転中または定検停止中
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) [その他設備]	海水ポンプ/エア水密防護3号	外観点検	G3	1C	○	15回		
	浸水防護扉 一式	外観点検	G3	1C	○	15回		
	ターミナルユニット部カバー 一式	外観点検	G4	5C	—	—		18回にて初回点検を計画
	床ドレイン/アン逆止弁 一式	分解点検	G3	130M	—	—	84 1次系弁検査	23回にて初回点検を計画
	海面監視カメラ(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	○	15回		
	耐震型海水ビット水位計(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M	○	15回	72 計測制御系監視機能検査	
	蒸気漏えいの自動検知・遮断隔離システム 一式	機能・性能試験 他	G4	13M~ 130M	○	15回	84 1次系弁検査	
	貫通部止水処置	外観点検	G3	1Y~ 10Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	海水ピット堰3A	開放点検	G3	13M	○	15回	167 海水ピット堰検査	
	海水ピット堰3B	開放点検	G3	13M	○	15回	167 海水ピット堰検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電原子炉の 附属施設(緊急時対策 所)	緊急時対策所(EL-32m)	外観点検	高	1Y	○	2021年	フロント運転中または定検停止中	フロント運転中または定検停止中 フロント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2021年		
		漏えい試験		6YP	—	15回	140 緊急時対策所の居住性確認検査	
電巻防護対策設備	補助給水タンクE1防護壁3号	外観点検	G3	1C	○	15回		
	重油タンクA(防護材)	外観点検	G3	1C	○	15回		
	重油タンクB(防護材)	外観点検	G3	1C	○	15回		
	重油タンクC(防護材)	外観点検	G3	1C	○	15回		
	建屋開口部防護壁 一式	外観点検	G3	1C	○	15回		
	原子炉格納施設	外観点検	高,低	1C	○	15回		一部フロント運転中
土木建築設備	原子炉建屋	非破壊試験		5Y	○	2018年		一部フロント運転中
		外観点検	高,低	1Y	○	2021年	フロント運転中または定検停止中	
		非破壊試験		5Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中
	原子炉補助建屋	外観点検	高,低	1Y	○	2021年	フロント運転中または定検停止中	
		非破壊試験		5Y	○	2018年		フロント運転中または定検停止中
	取放水設備 一式	外観点検 他	高,低	1Y~5Y	○	2021年		フロント運転中または定検停止中
フロント総合 全般機器	原子炉及びその附属設備(非常用予備発 電装置を除く)	総合性能試験	G3	1C	○	15回	55 総合負荷性能検査	定検起動後
	化学消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	水槽付消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	海水取水用水中ポンプ	外観点検	G4	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	諸機器	機能・性能試験 他	G4	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中

2.点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ピット区域水位(AM)計測装置 一式	特性試験 他	G3	13M	○	15回	72 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ等設備を含む。) 一式	特性試験 他	G3	13M~130M	○	15回	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	大型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	フロント運転中または定検停止中
	大型ポンプ車(泡混合機能付)	分解点検		10Y	○	—		フロント運転中または定検停止中 2023年にて初回点検を計画
		機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	フロント運転中または定検停止中
	中型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	フロント運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	3台	分解点検		10Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	7台	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	フロント運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	加圧ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	フロント運転中または定検停止中
	2台	分解点検		10Y	—	2022年		フロント運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	大型放水砲	外観点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	3台	外観点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 水源確保用ホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	小型船舶 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	取水ピットソルトフレンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	海水ピットソルトフレンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度は	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
	放水ビシット/フエンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	放水ビシット/フエンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	雨水排水口海洋シフト/フエンス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2021年		プラント運転中または定検停止中
	放射線物質吸着剤 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 弁 一式	分解点検	G3	130M~ 156M	-	-		22回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] ダイヤクセス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	原子炉冷却系統施設 [原予炉補機冷却水設備] 放圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(原予炉補機冷却水リターンタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	原予炉補機冷却水リターンタンク蓋素供給用 14mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	蓋素ボンベ(原予炉補機冷却水リターンタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ接続用5mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	格納容器雰囲気ガスポンプ/ル冷却器冷却水 屋外放出用21mフレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	161 可搬型重大事故等対処設備機能 検査	
		外観点検		1C	○	15回		
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C	○	15回		
	原子炉冷却系統施設 [原予炉補機冷却水設備] 弁 一式	分解点検 他	G3	130M~ 156M	-	-		22回にて初回点検を計画
	原子炉冷却系統施設 [原予炉補機冷却水設備] ダイヤクセス 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 弁一式	分解点検	G3	156M	—	—		24回にて初回点検を計画
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンに附属する管等] 管等]	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンに附属する管等] 弁一式	分解点検	G3	156M	—	—		24回にて初回点検を計画
計測制御系統施設 [計測装置]	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 水素濃度監視計器 計測制御系統施設 [計測装置] 弁一式	特性試験 他 1個 5個 2個 2個 2個	G3	13M	○	15回	35 プラント状態監視設備機能検査 72 計測制御系監視機能検査	
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の 作動信号]	計測制御系統施設 [計測装置] その他機器 一式 ATWS緩和設備 一式	分解点検 外観点検	G3	156M 13M	— ○	— 15回		24回にて初回点検を計画 プラント運転中または定検停止中
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 弁一式 蒸気ポンプ(空気作動弁用) 一式	特性試験 分解点検 他 外観点検	G3	13M 130M	○ —	15回 —	149 重大事故時安全停止回路機能検査 85 1次系安全弁検査	22回にて初回点検を計画
	マニホールド(空気作動弁用) 一式 空気作動弁用フレジウムホース 一式	外観点検 外観点検 外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	代替格納容器雰囲気ガスフランク圧縮装置 一式	外観点検 機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
計測制御系統施設 [その他設備]	代替格納容器雰囲気ガスフランク圧縮装置 一式 代替格納容器雰囲気ガスフランク圧縮装置電動機 一式	機能・性能試験 外観点検	G3	1C	○	15回	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	
	中央制御室用可搬型照明 8台	機能・性能試験 外観点検	G3	1C	○	15回		
	可搬型計測器 一式	外観点検 計器校正	G4 G3	1Y	○	2022年 2022年		プラント運転中または定検停止中 プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
放射線管理施設 [放射線管理用計装 置]	酸素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	二酸化炭素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信 連絡設備 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	計測制御系統施設 [その他設備]	分解点検	G3	156M	-	-		24回にて初回点検を計画
	緊急時対策用エリアモニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	可搬型使用済燃料ピットエリアモニタ 一式	特性試験	G3	12M~ 13M	○	15回	76	放射線監視装置機能検査
	可搬型代替モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	可搬型モニタ 一式	特性試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	可搬型放射線計測器 一式	特性試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	可搬型ガス分析装置 一式	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	可搬型気象観測設備 一式	特性試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
放射線管理施設 [換気設備]	緊急時対策所空気浄化系	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンA	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		分解点検						
	緊急時対策所空気浄化ファンA電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画
		機能・性能試験						
	緊急時対策所空気浄化ファンB	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		分解点検						
	緊急時対策所空気浄化ファンB電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画
		機能・性能試験						
	緊急時対策所空気浄化ファンC	機能・性能試験	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		分解点検						
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 2028年にて初回点検を計画
		機能・性能試験						
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 2030年にて初回点検を計画
機能・性能試験(よう素除去効 率)								
緊急時対策所空気浄化ファンC-A	機能・性能試験(漏えい率)	G3	1Y	○	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
	機能・性能試験							
緊急時対策所空気浄化ファンC-A	機能・性能試験	G3	30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画	
	開放点検							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他 の安全設備]	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットB	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1Y	○	2022年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	○	2022年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
		開放点検		30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1Y	○	2022年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	○	2022年	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		30Y	—	—	164 可搬型換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
		開放点検		30Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2043年にて初回点検を計画
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気加 熱コイル 一式	内部・外部点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
		作動確認	G3	12Y	—	—		プラント運転中または定検停止中 2025年にて初回点検を計画
緊急時対策所加圧装置機器 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中	
	分解点検 他	G3	12M~ 117M	○	2022年	85 1次系安全弁検査	プラント運転中または定検停止中	
	機能・性能試験	G3	1C	○	15回	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2 C)	
	分解点検		130M	—	—	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	23回にて初回点検を計画	
	代替格納容器スプレッド3号	分解点検	G3	130M	—		(振動診断: 1M) 19回にて初回点検を計画	

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉格納施設 [その他設備]	静的触媒式水素再結合装置3A	機能・性能試験	G3	3C	-	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3B	機能・性能試験	G3	3C	-	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3C	機能・性能試験	G3	3C	-	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3D	機能・性能試験	G3	3C	-	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3E	機能・性能試験	G3	3C	-	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	○	15回	72 計測制御系監視機能検査	
	イナタ付 13台	機能・性能試験	G3	2C~4C	○	15回	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	有効性評価No.4, 5の反映
	イナタ付作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	○	15回	72 計測制御系監視機能検査	
	格納容器再循環系クワート開放機構一式	作動確認	G3	10C	-	14回		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁一式	分解点検 他	G3	13M~156M	○	15回		
原子炉格納施設 [その他設備]	泡混合器 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プルト運転中または定検停止中
	水成膜泡消火薬剤(泡コンテナ、希釈率1%) 一式	外観点検	G4	1Y	○	2022年		プルト運転中または定検停止中
原子炉施設 [その他設備]	重大事故等ガス2機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	○	15回	144 重大事故等ガス2機器供用期間中検査	重大事故等ガス2機器供用期間中検査10年計画[別紙-8]
	重大事故等ガス3機器(供用期間中検査対象) 一式	漏えい試験		1C,10YP	○	15回		
	重大事故等ガス3機器(供用期間中検査対象) 一式	漏えい試験	G3	10YP	○	15回	168 重大事故等ガス3機器供用期間中検査	重大事故等ガス3機器供用期間中検査10年計画[別紙-9]

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕	
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) 〔非常用発電装置〕	空冷式非常用発電装置3号	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	プラント運転中	
		機関取替		10Y	—	2022年		プラント運転中 有効性評価No.6の反映	
		分解点検(発電機)		10Y	—	2022年		プラント運転中 有効性評価No.6の反映	
		潤滑油入替		2Y	—	2022年		プラント運転中	
	空冷式非常用発電装置4号	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	プラント運転中	
		機関取替		10Y	—	2022年		プラント運転中 有効性評価No.6の反映	
		分解点検(発電機)		10Y	—	2022年		プラント運転中 有効性評価No.6の反映	
		潤滑油入替		2Y	○	2022年		プラント運転中	
	非常用ガスタービン発電機	非常用ガスタービン発電機	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	プラント運転中
			分解点検(ガスタービン)		18Y	—	—	157 その他非常用発電装置の分解検査	プラント運転中 2038年度にて初回点検を計画
		部分点検	3Y	○	—	—		プラント運転中	
		分解点検(発電機)	12Y	—	—	—		プラント運転中 2031年度にて初回点検を計画	
		潤滑油入替	2Y	○	—	—		プラント運転中	
		分解点検	10Y	—	—	—		(潤滑油診断:1Y、振動診断:1Y) プラント運転中 2030年度にて初回点検を計画	
燃料油移送ポンプ3号用電動機	燃料油移送ポンプ3号用電動機	分解点検	G3	8Y	○	—		(振動診断:1Y) プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
	非常用ガスタービン発電機燃料油カービスタック	開放点検	G3	16Y	—	—		フロント運転中 2036年度にて初回点検を計画
	非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽	開放点検	G3	10Y	—	—		フロント運転中 2030年度にて初回点検を計画
	非常用ガスタービン発電機制御盤	制御盤点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中
		保護継電器特性試験等		6Y	—	—		フロント運転中 2025年度にて初回点検を計画
		校正試験 他		1Y~6Y	○	2022年		フロント運転中
	非常用ガスタービン発電機 その他の機器 一式	特性試験 他	G3	1Y~30Y	○	2022年	I-160 その他非常用発電装置の付属 設備検査	一部フロント運転中
	No.1 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.2 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.3 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.1 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.2 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.3 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3A	内部・外部点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3B	内部・外部点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3C	内部・外部点検	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の電源設備]	300kVA電源車中継端子盤A-1	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	300kVA電源車中継端子盤A-2	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	300kVA電源車中継端子盤B-1	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	300kVA電源車中継端子盤B-2	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	300kVA電源車用電源接続ユニット1	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット2	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット3	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット4	コントロールセンタ点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	緊急時対策所用発電機	6台 機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	軽油タンク3号	開放点検	G3	156M	-	-	124 2次系容器検査	25回にて初回点検を計画
	ミニローリー(ミニローリー車載送油用 19.5mまたは、20mホースを含む)	5台 機能点検	G3	0.25Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(非常用発電装置) 燃料補給用ホース等 一式	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(非常用発電装置) 弁 一式	分解点検	G3	156M	-	-		24回にて初回点検を計画
	代替動力変圧器3号	内部・外部点検	G3	4C	-	-	14回	
代替電気設備受電盤3号	遮断器点検	G3	52M	-	-	14回		
代替計装用変圧器盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	○	15回		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕
	代替計装用分電盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所用発電機中継端子盤A	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策用コントローラセク	コントローラセク点検	G3	4C	○	—		16回にて初回点検を計画
	緊急時対策所100V分電盤(1)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所100V分電盤(2)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所100V分電盤(3)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所100V分電盤(4)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所100V分電盤(5)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所100V分電盤(6)	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	緊急時対策所空調用分電盤	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	可搬型整流器3A	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3B	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3C	外観点検	G3	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	可搬型直流電源装置中継端子盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	可搬型直流電源装置切替盤3号	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
	蓄電池切換え3A	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	蓄電池切換え3B	内部・外部点検	G3	1C	○	15回		
	蓄電池(重大事故等対処用) 2組(60個/組)	機能・性能試験 蓄電池点検	G3	1C	○	15回	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
	蓄電池(3系統目) その他の機器 一式	機能・性能試験 蓄電池点検	G3	1C	○	—	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	フロント運転中
	蓄電池(3系統目) その他の機器 一式	直流電源装置点検 他	G3,G4	13M~ 26M	○	—		フロント運転中
	その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源設備) [その他の電源装置] その他機器 一式 糸鋸除去冷却器室漏えい防止櫃3A,3B	機能・性能試験 他 外観点検	G3,G4	12M~ 13M	○	2022年	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	格納容器スプレイ冷却器室漏えい防止櫃 3A,3B	外観点検	G3	1C	○	15回		
	酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む) 2台	単体調整試験	G3	1Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	非常用ガスバーン発電機建屋	外観点検	低	1Y	○	2021年		フロント運転中または定検停止中
		非破壊試験		5Y	—	2021年		フロント運転中または定検停止中
	全機機器	機能・性能試験	G3	1Y	○	2021年		フロント運転中または定検停止中

3.点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保金方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時原定期 回数	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術〕

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔 ( )内は適用する 設備診断技術 〕

4. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	分解点検	G3~G4	37Y	-	2015年		フロント運転中
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	目視点検	G4	5Y	-	2020年		フロント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体・液体又は固体 廃棄物貯蔵設備]	2棟 外観点検 他 固体廃棄物貯蔵庫 (1,2,3号機共用)	外観点検 他	低	1Y~ 5Y	○	2021年		フロント運転中または定検停止中
	1棟 外観点検 他 蒸気発生器保管庫 (1,2,3号機共用)	外観点検 他	低	1Y~ 5Y	○	2021年		フロント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体・液体又は固体 廃棄物処理設備]	1台 機能・性能試験 固体廃棄物貯蔵設備	機能・性能試験	G4	5Y	-	2022年	66 固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	フロント運転中または定検停止中
	放射線管理施設の廃棄施設 [気体・液体又は固体廃棄物処理設備] その他一式	分解点検 他	G4	4Y~ 16Y	○	2019年		フロント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	放射線管理施設の廃棄施設 [気体・液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器一式	分解点検 他	G3~G5, 低	1Y~ 12Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中 一部CBMあり 一部BDMあり
	1.エリアモニタ 2.プロセッサモータ モニタリングステーション	特性試験 3台 4台 1台	G3	1Y	○	2022年	76 放射線監視装置機能検査	フロント運転中または定検停止中 有効性評価No.7の反映
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	モニタリングポスト	特性試験	G4	2Y	○	2022年	62 野外モニタ機能検査	フロント運転中または定検停止中
	移動式モニタリング設備	特性試験	G4	2Y	○	2022年	62 野外モニタ機能検査	フロント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [換気設備]	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器一式	単体調整試験 他	G3	1Y~ 5Y	○	2022年		フロント運転中または定検停止中
	前処理室排気ファン	機能・性能試験	G4	15Y	-	2015年	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
放射線管理施設 [換気設備]	前処理室排気ファン電動機	分解点検	CBM		-	2002年		
		機能・性能試験	G4	8Y	○	2015年	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		8Y	○	2015年		フロント運転中または定検停止中



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
	焼却炉建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	○	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		8Y	○	2015年		ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	8Y	○	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		8Y	○	2015年		ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2007年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2007年		
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2010年		ファン運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
	焼却炉建家排気ファンC	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2002年		
	焼却炉建家排気ファンC電動機	機能・性能試験	G4	B	—	2010年	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断: 1M)
		分解点検		CBM	—	2010年		
	高圧圧縮機排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		6Y	—	2018年		
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2018年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		6Y	—	2018年		
	高圧圧縮機排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2021年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断: 1M)
		分解点検		6Y	—	2021年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施 時期(定検 回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する 設備診断技術〕
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		分解点検		CBM	—	—		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	—	2021年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	—	2021年		
	前処理室排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		15Y	—	2015年		
	焼却炉建家排気ファンユニットA	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		15Y	—	2015年		
	焼却炉建家排気ファンユニットB	機能・性能試験	G4	15Y	—	2015年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		15Y	—	2015年		
	高圧圧縮機排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	—	—	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 2024年にて初回点検を計画
		機能・性能試験		15Y	—	—		
その他発電用原子炉 の附属施設 〔電気設備〕	タンバ(タンクハネ)ホレーク、防火ガンバ、手動ガンバ 含む) 一式	機能・性能点検 他	G4	4Y~ 15Y	○	2019年	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		開放点検 他		36M~ 182M	—	15回		
その他発電用原子炉 の附属施設 〔電気設備〕	変圧器設備 一式	機能・性能点検 他	G3	6Y	—	2019年		ファン運転中または定検停止中
		しゃ断器 一式		6Y	—	2019年		
その他発電用原子炉 の附属施設 〔電気設備〕	その他発電用原子炉の附属施設 〔電気設備〕 その他機器 一式	内部・外部点検 他	G3	6Y	—	2019年		ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		1Y	○	2022年		
その他発電用原子炉 の附属施設(火災防 護設備) 〔消火設備〕	ディーゼル駆動消火ポンプ/ディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	10Y	○	2013年		ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M,潤滑油診断:1Y)
		分解点検		1Y	○	2022年		
その他発電用原子炉 の附属施設(火災防 護設備) 〔消火設備〕	ディーゼル駆動消火ポンプ	部分点検	G3	1Y	○	2022年		ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験		1Y	○	2022年		
		機能・性能試験	G3	1Y	○	2022年		ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y	—	2018年		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
	電動消火ポンプ	機能・性能試験	G4	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
		分解点検		6Y	—	2022年		
	電動消火ポンプ電動機	機能・性能試験	G4	1Y	○	2022年		プラント運転中または定検停止中
	消火系統機器(AM機能範囲) 一式	取替	G3	CBM	—	2010年		一部プラント運転中 (巡視点検:1M)

5.行政指導文書の点検指示による点検

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保金の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 〔( )内は適用する設備診断技術〕
原子炉本体 [炉心]	再使用予定の燃料集集体	点検及び試験の項目 外観点検(最下部支持格子内 の間隔確認)	G3	1C	○	15回		平成22・02・03原院第3号(NISA-161a-10-1) ※漏えい事象に係る知見を踏まえ選定

クラス1 機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												備考
									第1検査時期				第2検査時期				第3検査時期				
									16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回						
B2.111			上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	22回	100%					
			下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-		100%			
			トランジションリングと下部鉄板との周溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-		100%			
			上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーム	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-		100%			
B3.10	B-D		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	3箇所					
			冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-		3箇所			
B3.20	B-D		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	3箇所					
			冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-		3箇所			
B5.10	B-F		冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 (※1)	100% (※1)	3箇所	PT (外面) UT (内面)	100%	C	-	-	-	B	-	-	A	A, B, C				
			冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 (※1)	100% (※1)	3箇所	PT (外面) UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	B	A	-	C	A, B, C		

(注) 項目番号B1.101, B1.102, B1.103, B-A/B2.112, B2.121, B2.122, B-B/B5.20, B5.30 B-Fについては該当なし。  
 ※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原研技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

1. 原子炉容器 (2/2)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回
B6.10	B-G-1	上蓋用ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	-	16個	-	8個	-	20回	21回	22回
B6.30		スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%	-	16本	-	8本	-	16本	9本	9本
B6.40		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%	-	14箇所	-	15箇所	-	14箇所	15箇所	15箇所
B6.50		上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	-	16個	-	8個	-	16個	9個	9個
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングの下部クランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-
B14.10	B-0	胴御持駆動ハウジング上部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	52箇所	PT	最外周の25% (4箇所)	-	-	-	1箇所	-	1箇所	-	1箇所
		胴御持駆動ハウジング下部の溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	55箇所	PT	最外周の25% (5箇所)	-	-	-	1箇所	-	1箇所	-	1箇所
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	100% (可能範囲)	-
G1.40		原子炉容器の内部取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	100% (可能範囲)
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	100% (可能範囲)	-
		下部炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	100% (可能範囲)

(注) 項目番号B6.20 B-G-1/B8.10 B-IIについては該当なし。

2. 加圧器 (1/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								16回	17回	18回	19回		20回	21回
B2.11		上部鏡板と上部胴との 周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-
		下部胴と下部鏡板との 周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	-	5%	-	-	-	-	-
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	17-A 10%	-	-	-	17-A 10%	-	-
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	-	17-A 10%	-	-	-	17-A 10%	-
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	-	-	-	-	5%	-	
B3.30		管台と容器との溶接継手	サージライン用管台	体積	管台数の25%	1箇所	UT	管台数の25% (2箇所)	-	-	-	-	-	1箇所
			スプレイルライン用管台			1箇所			-	-	-	-	-	
			逃がし弁用管台			1箇所			-	-	-	-	-	
			安全弁用管台			3箇所			-	-	-	-	-	
B3.40	B-D	管台内面の丸み部分	サージライン用管台	体積	管台数の25%	1箇所	UT	管台数の25% (2箇所)	-	-	-	-	-	1箇所
			スプレイルライン用管台			1箇所			-	-	-	-	-	
			逃がし弁用管台			1箇所			-	-	-	-	-	
			安全弁用管台			3箇所			-	-	-	-	-	



2. 加圧器 (2/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期						
								16回	17回	-	18回		19回	20回	-	21回	22回		
B5.40	B-F	管台とセーフエントとの溶接継手 管台とセーフエントとの溶接継手 速がし弁用管台 安全弁用管台	体積及び表面	管台数の25%	1箇所	UT PT	管台数の25% (2箇所)	-	16回	17回	-	18回	19回	20回	-	21回	22回	1箇所	
					1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
					3箇所			3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)	1本				1本					2本		
B8.20	B-H	支持スカート溶接継手	表面	7.5%	1シーム	PT	7.5%										7.5%		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)										1箇所		

(注) 項目番号B5.50, B5.60 B-F/B6.60, B6.70, B6.80 B-G-1については該当なし。

3. 蒸気発生器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期				第2検査時期			第3検査時期		備考		
								16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回					
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との周溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ所/基×3基	UT	代表1基の25%	A 5%											
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT	代表1基の25% (1箇所)												
B5.70	B-F	冷却材出入口管台と七ーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 (※1)	代表1基の25% (※1)	1箇所/基×3基	PT UT	代表1基の25% (1箇所)												
B7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールの取付けボルト	ECT (内表面) (※1)	代表1基の25%	16本×2/基×3基	VT-1	代表1基の25% (8本)	A入口 2本											
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手	表面	代表1基の7.5%	4箇所/基×3基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)												
F.1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×3基	VT-3	代表1基の25% (1箇所)												

(注) 項目番号B3.50 B-D/B5.80, B5.90 B-F/B6.90, B6.100, B6.110 B-G-1/B16.30 B-Qについては該当なし。

項目番号B16.20 B-Q 「伝熱管」については、統合型保守管理システム (EAM) にて管理する。

※1 NRA文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における取組その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。

4. 配管 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回
B7.50	B-G-2	圧力保持用 キャム、ワット 一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-1	25%	6箇所	VT-1	25% (2箇所)	-	-	1箇所	1箇所	-	21回	22回	1箇所
B9.11	B-J	一次冷却材管	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所
		加圧器サージライン	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	2箇所	-	-	1箇所	1箇所	-	-	3箇所
		加圧器逃がしライン	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	1箇所
		加圧器スプレイライン	体積	25%	61箇所	UT	25% (16箇所)	-	-	3箇所	3箇所	2箇所	-	2箇所	3箇所
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	25%	10箇所	UT	25% (3箇所)	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	1箇所
		蓄圧注入ライン	体積	25%	44箇所	UT	25% (11箇所)	1箇所	3箇所	-	2箇所	1箇所	-	2箇所	2箇所
		高温側低圧注入ライン	体積	25%	31箇所	UT	25% (8箇所)	1箇所	2箇所	-	1箇所	1箇所	-	1箇所	2箇所
		低温側低圧注入ライン	体積	25%	47箇所	UT	25% (12箇所)	-	-	2箇所	2箇所	2箇所	-	2箇所	2箇所
		高温側高圧注入ライン	体積	25%	16箇所	UT	25% (4箇所)	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	-

(注) 項目番号B5.130, B5.140, B5.150 B-F/B6.150, B6.160, B6.170 B-G-I/B9.12 B-J については該当なし。

4. 配管 (2/5)

項目番号	カテゴリ	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
		適用規格: 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		第1検査時期				第2検査時期					第3検査時期		
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回
B9.21	B-J	一次冷却材管	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)	1箇所							
		配管の周縁溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所					1箇所		
		加圧器補助スプレイライン	表面	25%	18箇所	PT	25% (5箇所)	1箇所		1箇所			1箇所	1箇所	
		ドレンライン	表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	2箇所			2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	
B9.31	B-J	充てんライン	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)								
		一次冷却材ポンプ排水注入ライン	表面	25%	14箇所	PT	25% (4箇所)		1箇所				1箇所		
		高温側高圧注入ライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所					1箇所	
B9.32	B-J	低温側高圧注入ライン	表面	25%	54箇所	PT	25% (14箇所)					2箇所			2箇所
		母管と管台との溶接継手の溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)		1箇所						1箇所
B9.40	B-J	一次冷却材管	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所							1箇所
		高温側低圧注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)								1箇所
B9.40	B-J	加圧器補助スプレイライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)							1箇所	
		ドレンライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)							1箇所	

(注) 項目番号B9.22 B-Jについては該当なし。

4. 配管 (3/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回	
B9.40	B-J	ソケット溶接継手	表面	25%	51箇所	PT	25% (13箇所)	1箇所	2箇所	-	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
		一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	表面	25%	16箇所	PT	25% (4箇所)	1箇所	-	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		高温側高圧注入ライン	表面	25%	18箇所	PT	25% (5箇所)	-	1箇所	-	2箇所	-	-	-	2箇所	
F1.10	F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	9箇所 MS 7 SH 2	VT-3	25% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	-	
		加圧器逃がしライン	VT-3	25%	10箇所 MS 8 SH 2	VT-3	25% (3箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	1箇所	-	
		加圧器スプレイライン	VT-3	25%	77箇所 MS 27 RH 43 SH 7	VT-3	25% (20箇所)	2箇所	-	-	2箇所	-	-	-	2箇所	-
								3箇所	-	-	2箇所	-	-	1箇所	-	4箇所
								1箇所	-	-	-	-	1箇所	-	-	-
加圧器補助スプレイライン	VT-3	25%	17箇所 AN 1 HS 2 MS 9 RH 3 SH 2	VT-3	25% (5箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	2箇所			

(注) 項目番号B9.110, B9.120, B9.130 B-J/B10.20 B-Kについては該当なし。

4. 配管 (4/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)														
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		備考	
								16回	17回	-	18回	19回	20回	-		21回
FL10	F-A	ドレンライン	VT-3	25%	MS 6	VT-3	25% (6箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
					RH 16			2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SH 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		MS 2	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
		RH 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		SH 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
支持構造物	F-A	一次冷却材ポンプ 封水注入ライン	VT-3	25%	MS 3	VT-3	25% (7箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	
					RH 25			1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所			
支持構造物	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%	MS 2	VT-3	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	
					RH 18			-	-	-	-	-	-	-	-	
支持構造物	F-A	蓄圧注入ライン	VT-3	25%	MS 14	VT-3	25% (9箇所)	-	1箇所	-	-	1箇所	-	-	1箇所	
					RH 3			-	-	-	-	-	-	-	-	
支持構造物	F-A	蓄圧注入ライン	VT-3	25%	SH 3	VT-3	25% (9箇所)	-	2箇所	-	-	-	-	-	2箇所	
					SH 3			-	-	-	-	-	-	-	-	

4. 配管 (5/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考																						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期																					
								16回	17回	18回	19回		20回	-	21回	22回																		
FL10	F-A	高圧側低圧注入ライン	VT-3	25%	AN 1	VT-3	25% (7箇所)	-	-	-	-	-	-	-																				
					HS 1										1箇所	-	-	-	-	-	-													
					MS 7																	2箇所	-	-	-	-	-							
					RH 16																							1箇所	-	-	-	-	-	
SH 3	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所																							
FL10	F-A	低圧側低圧注入ライン	VT-3	25%	AN 1	VT-3	25% (11箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-																			
					HS 1											2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
					MS 15																					2箇所	-	-	-	-	-	-		
					RH 22																												2箇所	-
SH 2	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所																							
FL10	F-A	高圧側高圧注入ライン	VT-3	25%	AN 2	VT-3	25% (8箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-																			
					MS 3											1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
					RH 24																					2箇所	-	-	-	-	-	-		
					AN 3																												2箇所	-
MS 12	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所																							
FL10	F-A	低圧側高圧注入ライン	VT-3	25%	AN 3	VT-3	25% (13箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-																			
					MS 12											1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
					RH 34																					2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-
					SH 3																													
SH 3	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所																						

5. 一次冷却材ポンプ

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)													
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		備考
								16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回	
B6.180		主フランジボルト	体積	代表1台の25%	24本/台×3台	UT	代表1台の25% (6本)	A 2本	-	A 2本	-	A 2本	-		
B6.190	B-G-1	主フランジ表面 (開放時)	VT-1	代表1台の25%	3台	VT-1	代表1台の100%			A 2本		A 100%			
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	24組/台×3台	VT-1	代表1台の25% (6組)					A 6組			
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	3台	VT-3	代表1台の100%					A 100%			
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%	3箇所/台×3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)						B 1箇所		

(注) 項目番号B7.60 B-G-2/B10.30 B-K/B12.10 B-L-1については該当なし。



項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
								第1検査時期		第2検査時期				第3検査時期							
								16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回							
B7.70	B-6-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台 の25%	12個/台 ×3台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	1台	-	-	1台	-	
		加圧器過がしライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	1台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		加圧器過がしライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		加圧器スプレイライン (3PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台 の25%	8個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	1台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		加圧器補助アノライズ (3V-CS-156)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	-	-
		ドレンライン (3V-RC-020A, 020B, 020C)	VT-1	代表1台 の25%	8個/台 ×3台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		抽出ライン(1) (3V-RC-019)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	-	-	-
		抽出ライン(2) (3LCV-451, 452)	VT-1	代表1台 の25%	6個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1台	-
		充てんライン (3V-CS-161, 162)	VT-1	代表1台 の25%	10個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		余熱除去スアノライズ (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台 の25%	18個/台 ×2台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1台	-	-	-	-
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台 の25%	16個/台 ×6台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1台
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×4台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1台
低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×6台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台 の25%	14個/台 ×1台	VT-1	代表1台 の100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1台	-		

(注) 項目番号B6.210, B6.220, B6.230 B-6-1 については該当なし。

適用規格： 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期											
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回									
B12.50	B-M-2	弁本体内部	VT-3	同一グループで1台	3台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	-	-	-	1台	1台	22回								
								加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	1台															
								余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	2台															
								蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	6台															
								高温側低圧注入ライン (3V-RI-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	4台									1台						
								低温側低圧注入ライン (3V-RI-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	6台															
		高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-3	同一グループで1台	1台	VT-3	同一グループで1台																	

(注) 項目番号B10.40 B-K/B12.30, B12.40 B-M-1 については該当なし。

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期					
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回			
F.L. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-		
				代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
				代表1台の25%	2箇所/台 × 1台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
		抽出ライン	VT-3	代表1台の25%	2箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		
								16回	17回	18回	19回		20回	-	21回
B15.10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○
B15.20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○
B15.30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○
B15.50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○
B15.70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい 試験時 100%	○	○	○	○	○	○	○	○

クラス1 機器供用期間中検査10年計画 (原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査計画)

1. 配管

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回		
B9.11	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径100A以上) 余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%	19箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
B9.21	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	-	1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	
B9.32	B-J	配管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	4箇所	PT	100% (4箇所)	1箇所	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
F1.10	F-A	支持構造物	VT-3	25%	MS 12 RH 12 SH 3	VT-3	25% (7箇所)	1箇所	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	

2. 弁

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								16回	17回	18回	19回		20回	21回	22回		
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台の25%	18箇所/台 × 2台	VT-1	代表1台の100%	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	
B12.50	B-M-2	弁本体内部表面 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	同一グループで1台	2台	VT-3	同一グループで1台	-	-	-	1台	-	-	-	-	-	
F1.41	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入口ライン (3V-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台の25%	1箇所/台 × 2台	VT-3	代表1台の25%	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去冷却器

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								13回 特1※2	14回	15回	15回 特1※2		16回	
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1つ-A/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%	-	-	-	-	-	-	
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1つ-A/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%	-	-	-	-	-	-	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	管台数の 7.5%	2箇所/基 ×2基	UT PT	管台数 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	A入口	

(注) 項目番号C1.30 C-A/C2.11, C2.22, C2.31, C2.32 C-B/C3.10 C-C/C4.10 C-D/FI.43 F-Aについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業普検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

2. 配管 (1/5)

適用規格		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								13回特4※1	-	14回	15回		15回特1※2	16回				
C3.20	C-C	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	16回	
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		余熱除去ポンプ入口ライン (1)	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-
		余熱除去ポンプ入口ライン (2)	体積及び表面	7.5%	49箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所
C5.11	C-F	余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	57箇所	UT PT	7.5% (5箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	2箇所	1箇所	
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	26箇所	UT PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	21箇所	UT PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	31箇所	UT PT	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 項目番号C4.20 C-Dについては該当なし。  
 ※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査  
 ※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査  
 ※3 15回特1以前はJISME S NAI-2008を適用

2. 配管 (2/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								13回特4※1	-	14回	-		15回特1※2	-
C5.12		配管の長手溶接継手	体積及び表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積及び表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
C5.21	C-F	格納容器再循環サンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	-	-							
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	58箇所	PT	7.5% (5箇所)	1箇所			2箇所		2箇所	
C5.21	C-F	低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	43箇所	PT	7.5% (4箇所)		1箇所		1箇所		1箇所	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	115箇所	PT	7.5% (9箇所)	2箇所			3箇所		2箇所	
C5.30		高圧注入ポンプ出口封水注入ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所		1箇所			
		高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	16箇所	PT	7.5% (2箇所)						※4	
C5.30		低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	32箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所			1箇所		1箇所	
		高圧注入ポンプ出口封水注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所		1箇所			
C5.30		高圧注入ポンプ出口封水注入ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)						1箇所	

(注) 項目番号C5.22, C5.41, C5.42 C-Fについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

※4 15回特1 (第3検査時期) 後に追加されたため、維持規格IA-2320 (6) の規定により、次検査間隔から検査を計画する。



2. 配管 (3/5)

項目番号	カテゴリ	適用規格	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考	
			維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期 13回 特4※1	第2検査時期 14回	第3検査時期 15回 特1※2		16回
F1.21	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	36箇所 HS 4 MS 5 RH 25 SH 2	VT-3	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	
				VT-3	7.5%	16箇所 HS 3 MS 1 RH 10 SH 2	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
				VT-3	7.5%	6箇所 MS 1 RH 5	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
				VT-3	7.5%	6箇所 MS 4 RH 2	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
			余熱除去冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	85箇所 AN 3 HS 8 MS 16 RH 58	VT-3	7.5% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

2. 配管 (4/5)

適用規格: 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考
								-	13回特4※1	-	14回	-	15回	
FL.21	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)	13箇所	-	-	-	-	-	-
					HS 2									
					MS 3									
					RH 6									
					SH 1									
					AN 1									
					HS 3									
					MS 1									
					RH 7									
					RH 81									
AN 1														
RH 55														
AN 9														
MS 1														
RH 99														
RH 26														
RH 4														

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査  
 ※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査  
 ※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用  
 ※4 15回特1 (第3検査時期) 後に追加されたため、維持規格IA-2320(6)の規定により、次検査間隔から検査を計画する。

2. 配管 (5/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)													
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考	
								-	13回 特1※1	-	14回	-	15回		15回 特1※2
F1.21	F-A	燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-3	7.5%	3箇所 HS 1 RH 2	VT-3	7.5% (1箇所)								
		支持構造						1箇所							
		格納容器再循環サンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	26箇所 HS 8 RH 16	VT-3	7.5% (2箇所)							1箇所	
		格納容器再循環サンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%	2箇所 RH 2	VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

3. 充てんポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	
C3.30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所/台 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	A 1箇所 B 1箇所	-	-	A 1箇所	-	C 1箇所	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	16本/台 ×3台	UT	代表1台 の7.5% (2本)				A2本			
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)					A 1箇所		
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	A 1箇所						

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

4. 余熱除去ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	PT	代表1台 の7.5% (1箇所)	A 1箇所	-	-	-	-	-	
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)			A 1箇所				

(注) 項目番号C3.30 C-C/C4.30 C-Dについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業蓄検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

適用規格： 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	14回		-	15回	15回 特1※2	-	16回
F1.43	F-A	支持構造物	高压注入ポンプ出口 封水注入ラインA (3V-SI-026A)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所			
			高压注入ポンプ出口 封水注入ラインB (3V-SI-026B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	-		
			余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	
			余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	
			余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	
			余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	
			高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
			高压注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			高压注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	
			高压注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	
			格納容器再循環サンプ 出口ライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×1台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
						VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	※4

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

※4 15回特1(第3検査時期)後に追加されたため、維持規格IA-2320(6)の規定により、次検査間隔から検査を計画する。

6. クラス2機器漏えい検査 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※4		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考					
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期			第2検査時期		第3検査時期		
						13回特4※1	-		14回	-	15回特1※3	-	16回
C7.30 C7.70		一次冷却系統	加圧器逃がしタンク 補給水ライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上					○			
C7.10 C7.30 C7.70			抽出ライン(1)	VT-2				○					
C7.10 C7.30 C7.70			抽出ライン(2)	VT-2				○					
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク入口ロライン	VT-2			○※2						
C7.10 C7.30 C7.70			体積制御タンク及び 出入口ロライン	VT-2							○		
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3A出口ロライン	VT-2						○※2			
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3B出口ロライン	VT-2								○	
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統	充てんポンプ3C出口ロライン	VT-2						○※2			
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び対水注入ロライン	VT-2						○※2			
C7.10 C7.30 C7.70			ほう酸混合器及び出入口 ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3A入口ロライン	VT-2									
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ロライン	VT-2									
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ロライン	VT-2									
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ロライン	VT-2									
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 対水戻りライン	VT-2							○※2		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査  
 ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施。  
 ※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査  
 ※4 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

6. クラス2機器漏えい検査 (2/5)

項目番号		カテゴリ	通用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※4		伊方発電所第3号機検査計画 (10.0.カ年)				備考				
システム名		検査対象箇所	検査方法	検査力	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
					13回特4※1	-	14回	-		15回特1※3	-	16回	
07.30	07.70	安全注入系統	高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2					○※2				
07.30	07.70		高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2						○			
07.30	07.50		高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2		○※2							
07.30	07.70		高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2		○※2							
07.30	07.50		高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2						○			
07.30	07.70		高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2						○※2			
07.10	07.30		蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2		○※2							
07.30	07.70		蓄圧タンク水張りライン	VT-2						○			
07.30	07.70		蓄圧タンク蒸発戻りライン	VT-2						○※2			
07.30	07.70		燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2						○	○		
07.30	07.70	余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2				○						
07.30	07.70	余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2						○※2				
07.10	07.30	余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2							○※2			
07.30	07.70	余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2								○		
07.30	07.70	格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2				○						
07.10	07.30	格納容器スプレイ系統	VT-2										
07.30	07.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1)	VT-2						○				
07.30	07.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2)	VT-2								○		

- ※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査
- ※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施。
- ※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査
- ※4 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用



6. クラス2機器漏えい検査 (3/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※4		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考										
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
						13回特4※1	-		14回	-	15回	15回特1※3	-	16回				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (1)	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上													
C7.30 C7.70		格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプ 3B出口ライン (2)	VT-2														
C7.10 C7.30 C7.70		格納容器スプレイシステム	よう素除去薬品タンク及び 出入口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク 出口ライン	VT-2														
C7.10 C7.30 C7.70			pH調整剤貯蔵タンク及び 出入口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70			加圧器気相部、液相部及び 一次倍封材A/Lルーブ高温側 サンプリングライン	VT-2														
C7.30 C7.70	C-H	試料採取系統	一次冷却材ルーブ 高温側サンプリングライン	VT-2														
C7.30 C7.70			蓄圧タンク3A, 3B, 3C サンプリングライン	VT-2														
C7.30 C7.70			蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70		主蒸気系統	蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2														
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2														
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2														
C7.10 C7.30 C7.70		主給水系統	蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2														
C7.10 C7.70			蒸気発生器3C給水入口ライン	VT-2														

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施。

※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※4 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

6. クラス2機器漏えい検査 (4/5)

項目番号		カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考			
							第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期					
							13回特4※1	-	14回	-	15回	15回特1※2	-	16回		
C7.30 C7.70			蒸気発生器 ブローダウンスystem	蒸気発生器3A ブローダウンスystem	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上								○		
C7.30 C7.70				蒸気発生器3B ブローダウンスystem	VT-2											○
C7.30 C7.70				蒸気発生器3C ブローダウンスystem	VT-2											○
C7.30 C7.70			蒸気発生器 ブローダウンスystem	蒸気発生器3A ブローダウンスystem	VT-2										○	
C7.30 C7.70				蒸気発生器3B ブローダウンスystem	VT-2										○	
C7.30 C7.70				蒸気発生器3C ブローダウンスystem	VT-2										○	
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	格納容器再循環ユニット 3A, 3B冷却水供給ライン	VT-2			○								
C7.30 C7.70	C-H			格納容器再循環ユニット 3C, 3D冷却水供給ライン	VT-2											○
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3A冷却水戻りライン	VT-2				○							
C7.30 C7.70			原子炉補機 冷却水系統	格納容器再循環ユニット 3B冷却水戻りライン	VT-2			○								
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3C冷却水戻りライン	VT-2										○	
C7.30 C7.70				格納容器再循環ユニット 3D冷却水戻りライン	VT-2										○	
C7.30 C7.70			制御棒駆動装置冷却水 及び余剰抽出冷却器冷却水 供給、戻りライン	VT-2											○	
C7.30 C7.70			一次冷却材ポンプ 冷却水供給、戻りライン	VT-2											○	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

6. クラス2機器漏えい検査 (5/5)

適用規格： 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			備考					
						13回特4※1	-	14回	-	15回	15回特1※2	-	16回						
C7.30 C7.70	C-II	空調用冷水設備系統	制御格位置指示装置盤冷却ユニット冷却水供給、戻りライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	○	-	-	-	-	-	-	-	-					
C7.30 C7.70		液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン	VT-2						○									
C7.30 C7.70			格納容器サンプポンプ出口ライン	VT-2													○		
C7.30 C7.70		燃料取替用水系統	原子炉キヤピテイ浄化入口ライン	VT-2													○		
C7.30 C7.70			原子炉キヤピテイ浄化出口ライン	VT-2													○		
C7.30 C7.70		原子炉補給水系統	原子炉補給水ライン	VT-2									○						
C7.30 C7.70		水消火設備系統	消火用水ライン	VT-2								○							
C7.30 C7.70		制御用空気系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2												○			
C7.30 C7.70			制御用空気3B供給ライン	VT-2												○			
C7.30 C7.70		所内用空気系統	所内用空気ライン	VT-2														○	
C7.70		換気空調設備系統	安全補機室排気ファン3A・3B出入口弁	VT-2														○	
C7.70			安全補機室排気ファンユニットドレン弁	VT-2															○

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)								備考				
機器名	項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	第1検査時期			第2検査時期		第3検査時期	
								-	13回 特4※1		-	14回	-	15回
余熱除去冷却器 (胴側)	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	1箇所	-	-	-	-	-	-
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	1箇所	-	-	-	-	-	-
原子炉補機 冷却水冷却器 (胴側)	D1.10	D-A	胴と当板の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-1	1箇所	-	-	-	-	-	-
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×4基	VT-3	1箇所	-	-	-	-	-	-
格納容器及び 冷却器 (胴側)	D1.10	D-A	胴と当板脚の 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	-	-	-	-	1箇所	-	-
	F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	-	-	-	-	1箇所	-	-
海水ストレーナ	D1.10	D-A	鏡板とスカート との溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-1	-	-	-	-	1箇所	-	-
	F1.44	F-A	支持構造物 (スカート)	VT-3	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×4基	VT-3	-	-	-	-	1箇所	-	-
清水冷却器 (ケーブル 発電機)	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	-	-	-	-	-	1箇所	-
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	-	-	-	-	-	1箇所	-
潤滑油冷却器 (ケーブル 発電機)	D1.10	D-A	胴と当板との 溶接継手	VT-1	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	-	-	-	-	-	1箇所	-
	F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	-	-	-	-	-	1箇所	-

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査  
 ※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査  
 ※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

2. 配管 (1/2)

項目番号		カテゴリー	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	15回 特1※2	-	16回		
DI.20	D-A	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-1	7.5% (2箇所)	15箇所	VT-1	7.5% (2箇所)	-	-	-	1箇所	-	15回	1箇所	-	16回	1箇所	
		原子炉補機冷却水ポンプ C, D入口ライン	VT-1	7.5% (1箇所)	9箇所	VT-1	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
		原子炉補機冷却水ポンプ A, B出口ライン	VT-1	7.5% (2箇所)	15箇所	VT-1	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	1箇所	-	-	-	-
		原子炉補機冷却水ポンプ C, D出口ライン	VT-1	7.5% (1箇所)	13箇所	VT-1	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-
		海水ポンプA, B出口ライン	VT-1	7.5% (3箇所)	28箇所	VT-1	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
		海水ポンプC, D出口ライン	VT-1	7.5% (3箇所)	31箇所	VT-1	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	1箇所
		ディーゼル発電機A 冷却水ライン (海水)	VT-1	7.5% (1箇所)	7箇所	VT-1	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
		ディーゼル発電機B 冷却水ライン (海水)	VT-1	7.5% (1箇所)	7箇所	VT-1	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
				配管の支持部材取付け溶接継手														

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

2. 配管 (2/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	第1検査時期				第2検査時期				第3検査時期			
					101箇所	RH 96 AN 5			-	13回 特4※1	-		14回	-	15回	15回 特4※2	-	16回		
Fl.31	F-A	原子炉補機冷却水ポンプ A, B入口ライン	VT-3	7.5%	101箇所	RH 96 AN 5	VT-3	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	15回	2箇所	15回 特4※2	2箇所	-	16回	1箇所	
			VT-3	7.5%	76箇所	RH 73 AN 3	VT-3	7.5% (6箇所)	-	1箇所	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	1箇所	
		VT-3	7.5%	106箇所	RH 101 AN 5	VT-3	7.5% (8箇所)	-	2箇所	-	-	-	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	-	-	2箇所	
		VT-3	7.5%	82箇所	RH 76 AN 6	VT-3	7.5% (7箇所)	-	2箇所	2箇所	1箇所	-	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	-	-	1箇所	
		VT-3	7.5%	128箇所	RH 107 AN 21	VT-3	7.5% (10箇所)	-	3箇所	-	-	-	2箇所	-	2箇所	1箇所	-	-	-	
		VT-3	7.5%	109箇所	RH 90 AN 19	VT-3	7.5% (9箇所)	-	2箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	2箇所	-	-	2箇所
		VT-3	7.5%	32箇所	RH 25 AN 7	VT-3	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	1箇所
		VT-3	7.5%	32箇所	RH 25 AN 7	VT-3	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	-
		VT-3	7.5%	32箇所	RH 25 AN 7	VT-3	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	1箇所
				支持構造物																

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1前はJSME S NA1-2008を適用

3. クラス3 機器漏えい検査

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考													
項目番号	カテゴリ	システム名	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期									
						-	13回特4※1		-	14回	-	15回	15回特1※2	-	16回						
D2.30		原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水ポンプA, B入口ライン	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上																
D2.30			原子炉補機冷却水ポンプC, D入口ライン	VT-2																	
D2.10			原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	原子炉補機冷却水ポンプA, B出口ライン		VT-2															
D2.30				原子炉補機冷却水ポンプC, D出口ライン		VT-2															
D2.10				原子炉補機冷却		海水ポンプA, B出口ライン	VT-2														
D2.30						海水ポンプC, D出口ライン	VT-2														
D2.30	D-B	使用済燃料ピット水浄化冷却系統	使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2																	
D2.10			使用済燃料ピットポンプA出口ライン	VT-2																	
D2.30			使用済燃料ピットポンプB出口ライン	VT-2																	
D2.10			使用済燃料ピット冷却器	使用済燃料ピット冷却器C出入口ライン	VT-2																
D2.30				制御用空気圧縮機A出口ライン	VT-2																
D2.10			ディーゼル発電機始動空気系統	制御用空気圧縮機B出口ライン	VT-2																
D2.30		ディーゼル発電機3A始動空気ライン		VT-2																	
D2.10		ディーゼル発電機3B始動空気ライン		ディーゼル発電機3B始動空気ライン	VT-2																
D2.30						VT-2															

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

クラス1機器Ni基金使用部位特別検査10年計画

1. 原子炉容器

適用文書： NRA文書 <sup>(注)</sup>		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期		
								16回	-	17回	18回		19回	20回	21回
-	-	原子炉容器の底部表面 (原子炉容器の底部 管台廻り360°を含む)	BMV	100%/5年	1式	BMV	100%/5年	-	-	-	-	-	-	100%	100%

(注) NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における放射線を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規控発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。



クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査10年計画

1. 配管

項目番号	カテゴリ	適用文書： NRA文書（※1）					伊方発電所第3号機検査計画（10カ年）										備考	
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期				
								12回	13回 ※2	14回 ※2	15回 ※2	16回	17回	18回	19回			
-	-	充てんライン溶接継手	体積	25%	31箇所	UT	25% (8箇所)	<3箇所>	1箇所 <1箇所>	-	2箇所	1箇所	-	2箇所	2箇所	2箇所		
		抽出ライン溶接継手	体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	<1箇所>	1箇所			3箇所		2箇所				
		再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)		3箇所						2箇所	2箇所		

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日 原子力規制委員会決定))に従う。  
 なお、13回以前は、NISA文書「発電用原子炉設備における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈について(内規)」(平成21年12月25日付け平成21・11・18原院第1号)に従う。

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用  
 (注) < >は旧設備の検査実績を示す。

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

原子炉格納容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期				
E8.10	E-G	圧力保持用バルト締め付け部	VT-4	25% (18組)	1箇所 (72組)	VT-4	25% (18組)	-	13回 特4※1	-	14回	-	15回	15回 特1※2	-	16回	25% (18組)

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。

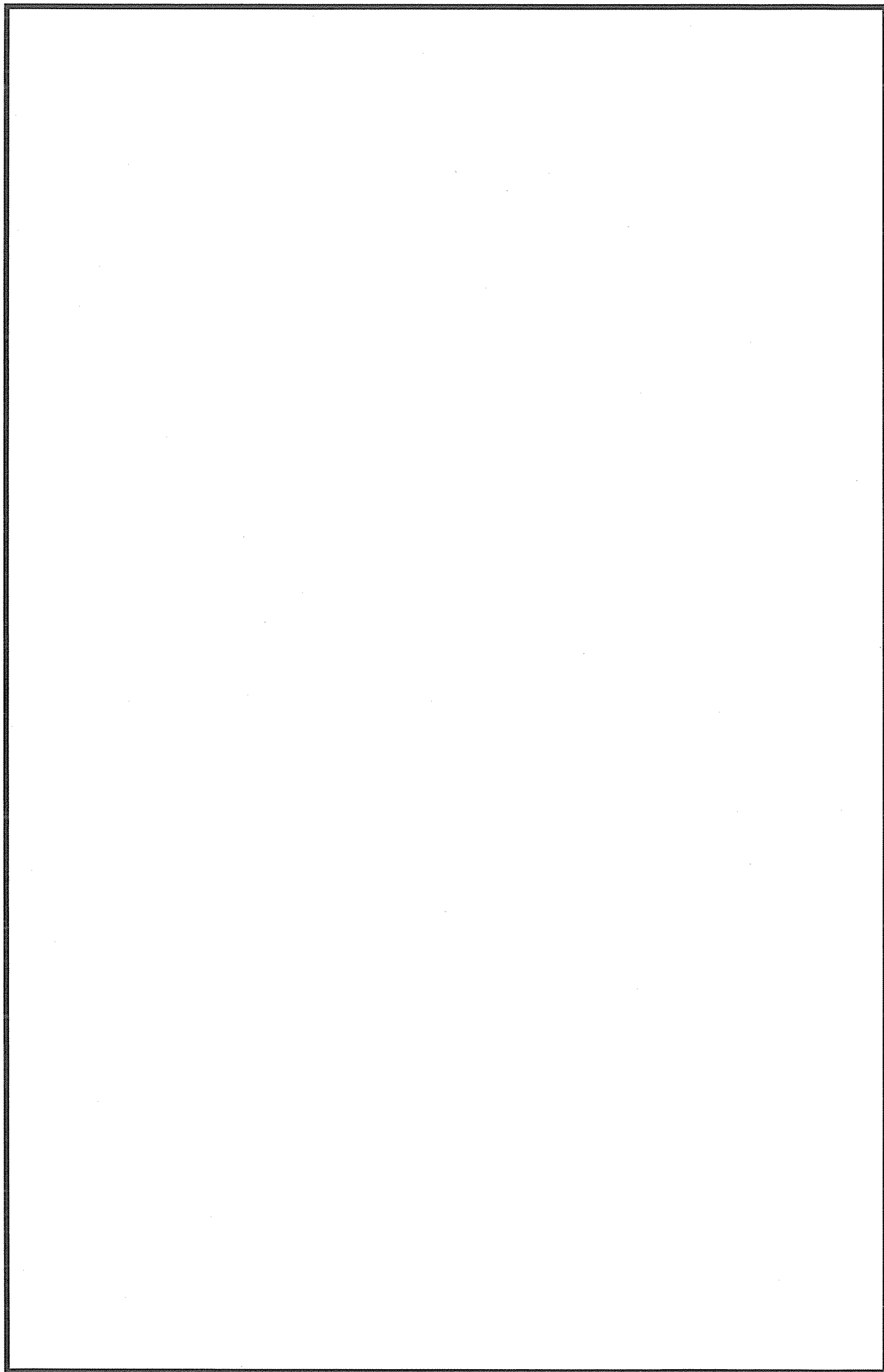
項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

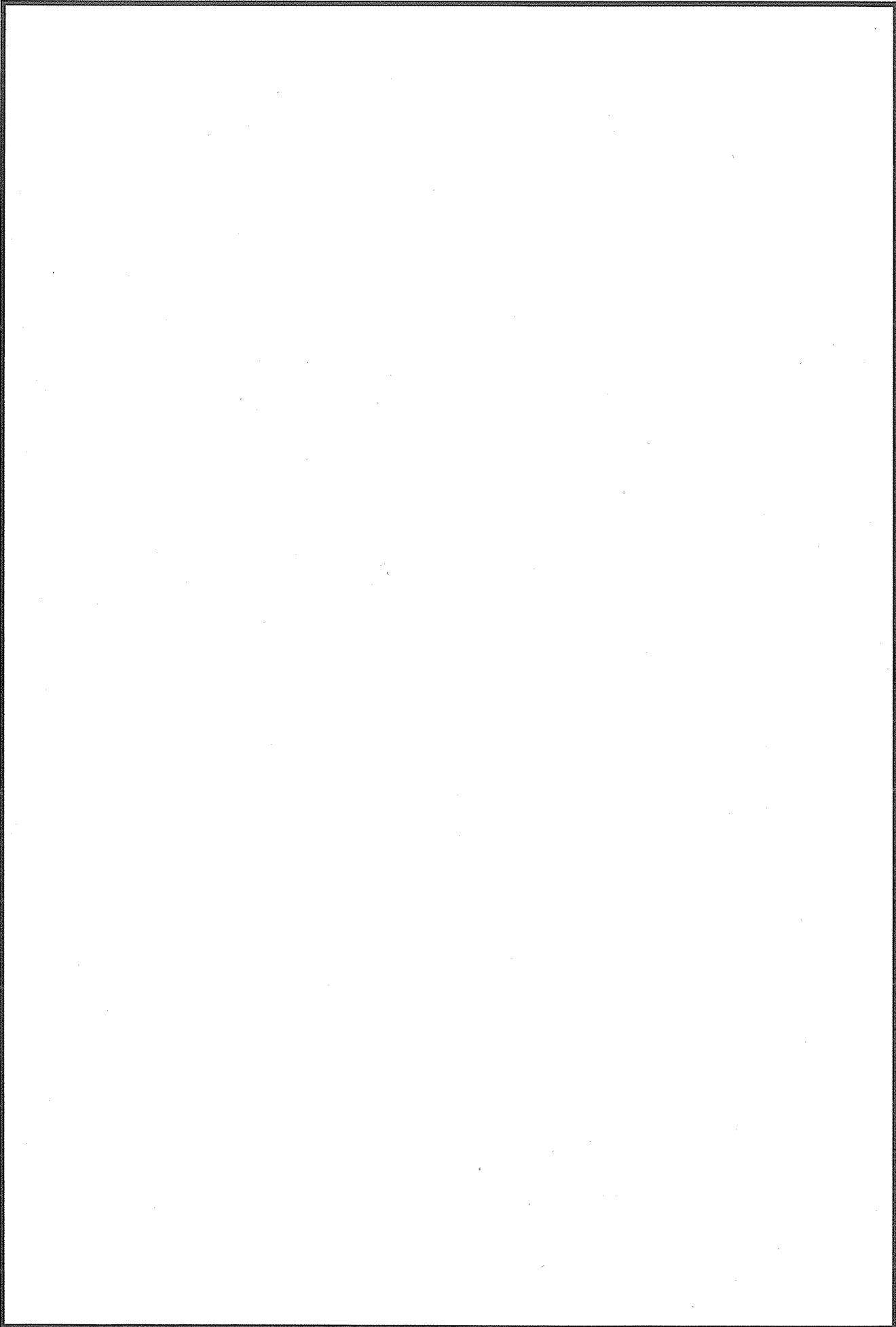
※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

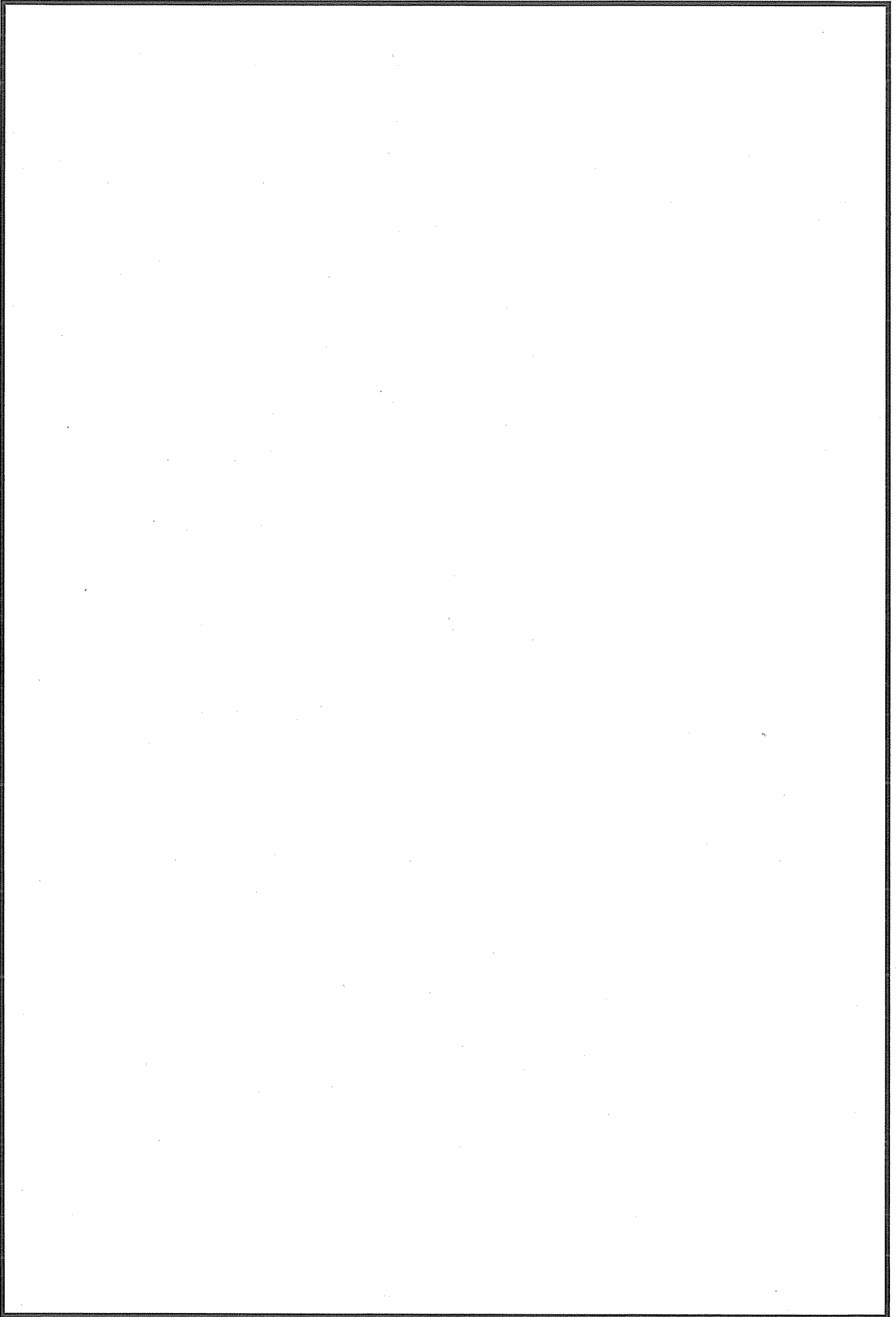
重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

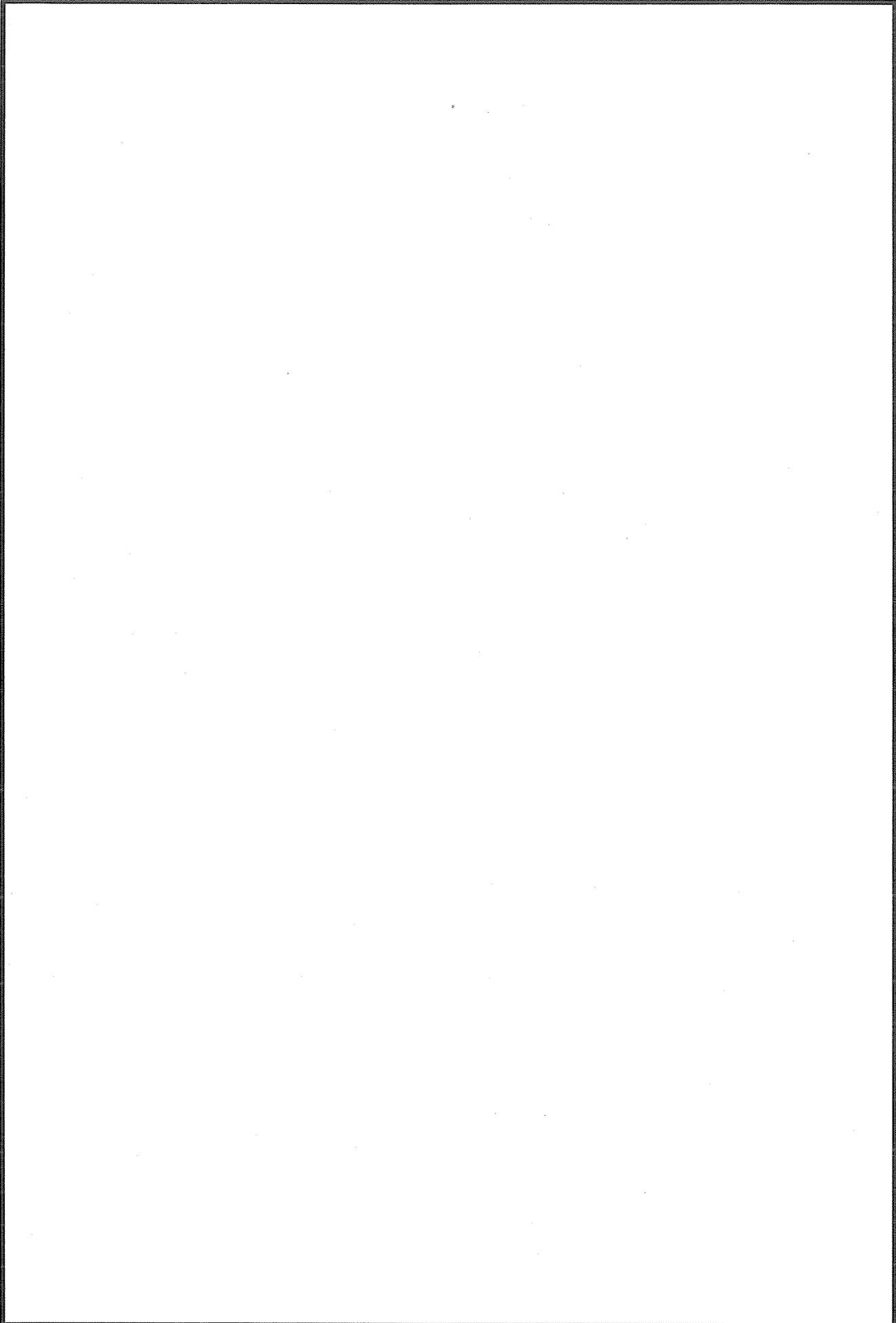
































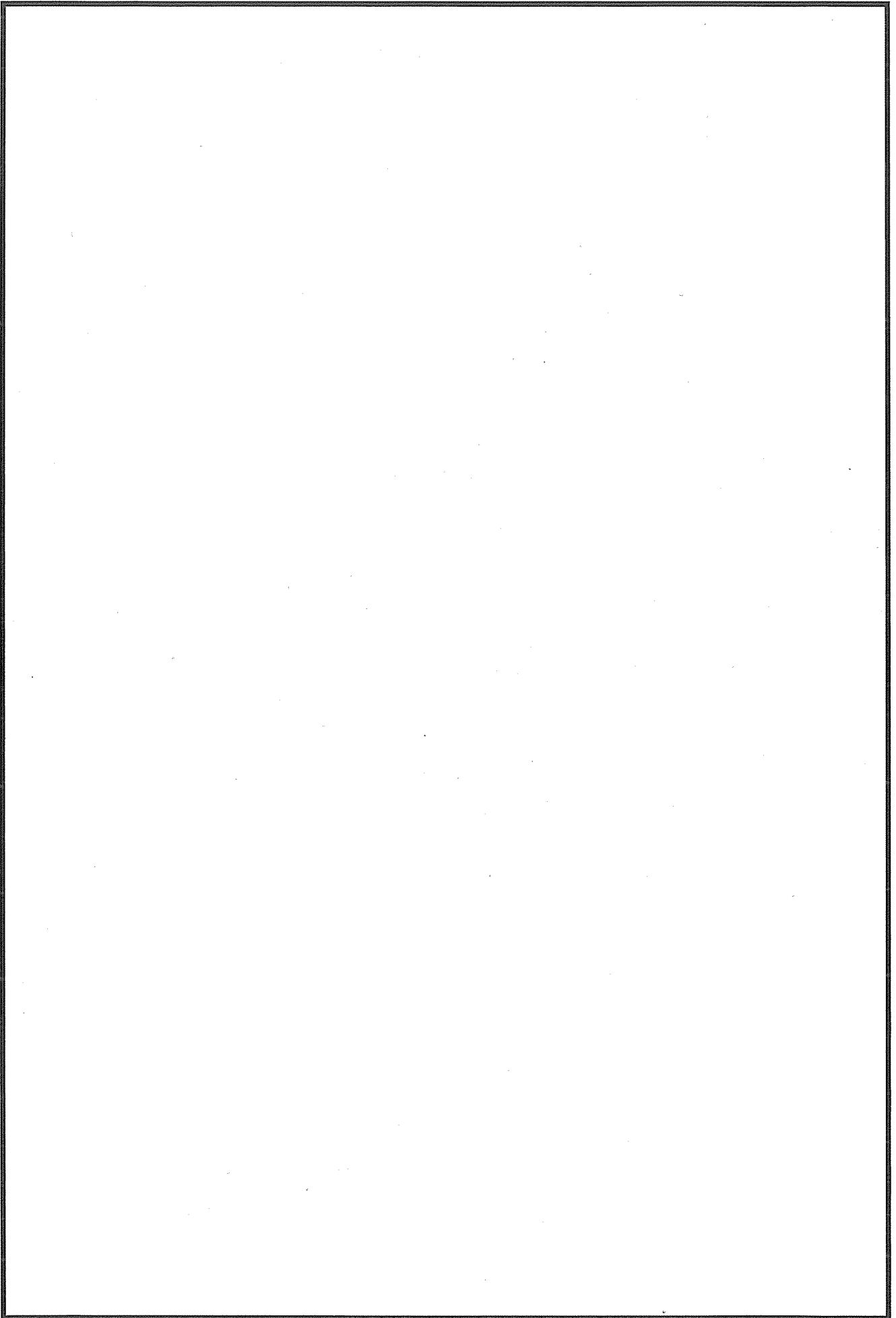


























重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉容器 (1/2)

適用規格： 維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%
		トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手	体積	5%
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	100%

クラス1機器供用期間中検査で管理

1. 原子炉容器 (2/2)

項目番号		カテゴリ	適用規格	維持規格	JISME S NA1-2012/2013/2014	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
B6.10	B-G-1		上蓋用ナット		VT-1	100%			
B6.30	B-G-1		スタッドボルト		体積	100%			
B6.40	B-G-1		胴フランジネジ穴のネジ部		体積	100%			
B6.50	B-G-1		上蓋用ワッシャー		VT-1	100%			
B7.10	B-G-2		T/Cハウジングの下部クランプ用ボルト、ナット		VT-1	25%			
B14.10	B-0		制御棒駆動ハウジング上部の溶接継手		体積又は表面	最外周の25%			
			制御棒駆動ハウジング下部の溶接継手		体積又は表面	最外周の25%			
F1.41	F-A		支持構造物		VT-3	25%			
G1.10	G-P-1		原子炉容器の内部		VT-3	7.5%			
			原子炉容器の内部取付け物		VT-3	7.5%			
G1.40	G-P-1		上部炉心支持構造物		VT-3	7.5%			
			下部炉心支持構造物		VT-3	7.5%			

クラス1機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (1/2)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%	
B2.12		下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	5%	
B2.13		上部胴の長手溶接継手 下部胴の長手溶接継手	体積 体積	10% 10%	
B3.30	B-D	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
		管台と容器との溶接継手	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%
		サージライ管用管台	サージライ管用管台		
		スプレイライ管用管台	スプレイライ管用管台		
	逃がし弁用管台	逃がし弁用管台			
B3.40	安全弁用管台	安全弁用管台	体積	管台数の25%	
	管台内面の丸み部分	管台内面の丸み部分			
	サージライ管用管台	サージライ管用管台			
	スプレイライ管用管台	スプレイライ管用管台			
		逃がし弁用管台			
		安全弁用管台			

クラス1機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (2/2)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B5.40	B-F	管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	管台数の25%
		サージライン用管台		
		スプレイライン用管台		
		逃がし弁用管台		
		安全弁用管台		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1	25%
B8.20	B-H	支持スカート溶接継手	表面	7.5%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理



3. 蒸気発生器

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との周溶接継手	体積	代表1基の25%
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%
			ECT (内表面)	
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	
E7.30	B-G-2	冷却材出入口側マンホールを取付けボルト	VT-1	代表1基の25%
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手	表面	代表1基の7.5%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (1/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.11	B-J	一次冷却材管	体積	25%
		加圧器サージライン	体積	25%
		加圧器安全弁ライン	体積	25%
		加圧器逃がしライン	体積	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%
		蓄圧注入ライン	体積	25%
		高温側低圧注入ライン	体積	25%
		低温側低圧注入ライン	体積	25%
		高温側高圧注入ライン	体積	25%
				配管の周溶接継手（呼び径100A以上）
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9. 21	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径 100A 未満)	表面	25%
		加圧器逃がしライン	表面	25%
		充てんライン	表面	25%
		高温側高圧注入ライン	表面	25%
B9. 31	B-J	低温側高圧注入ライン	表面	25%
		一次冷却材管	体積	25%
B9. 32	B-J	一次冷却材管	表面	25%
		高温側低圧注入ライン	表面	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (3/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.40	B-J	高温側高圧注入ライン	表面	25%
		ソケット溶接継手	表面	25%
FL.10	F-A	低温側高圧注入ライン	VT-3	25%
		加圧器サージライン	VT-3	25%
		支持構造物	VT-3	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (4/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
Fl.10	F-A	売てんライン	VT-3	25%
		支持構造物	VT-3	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (5/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
Fl.10	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%
		低温側低圧注入ライン	VT-3	25%
		高温側高圧注入ライン	VT-3	25%
		低温側高圧注入ライン	VT-3	25%
支持構造物				
クラス1機器供用期間中検査で管理				

5. 一次冷却材ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B6.180		主フランジボルト	体積	代表1台の25%
B6.190	B-G-1	主フランジ表面 (開放時)	VT-1	代表1台の25%
B6.200		主フランジナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B7.70	B-G-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台 の25%
		加圧器遮断ライン(1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台 の25%
		加圧器遮断ライン(2) (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台 の25%
		売てんライン (3V-CS-161, 162, 164, 165)	VT-1	代表1台 の25%
		余熱除去ポンプ入口ローイン (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台 の25%
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-1	代表1台 の25%
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-1	代表1台 の25%
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-1	代表1台 の25%
		高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-1	代表1台 の25%
		圧力保持用バルブ・ナット		
クラス1機器供用期間中検査で管理				



6. 弁 (2/3)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	同一グループで1台
		余熱除去ポンプ入口ライン (3PCV-420, 430)	VT-3	同一グループで1台
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A, 134B, 134C, 136A, 136B, 136C)	VT-3	同一グループで1台
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-053A, 053B, 3V-SI-082A, 082B)	VT-3	同一グループで1台
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-044A, 044B, 044C, 047A, 047B, 047C)	VT-3	同一グループで1台
		高温側高圧注入ライン (3V-SI-082C)	VT-3	同一グループで1台
弁本体内部表面				
クラスI機器供用期間中検査で管理				

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台 の25%
		支 持 構 造 物		
		加圧器逃がしライン (1) (3V-RC-054A, 054B)	VT-3	代表1台 の25%
		加圧器逃がしライン (2) (3PCV-452A, 452B)	VT-3	代表1台 の25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

7. クラス1機器漏えい検査

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B15.10	B-P	原子炉容器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.20	B-P	加圧器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.30	B-P	蒸気発生器 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.50	B-P	配管 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.60	B-P	一次冷却材ポンプ 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
B15.70	B-P	弁 圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画  
(クラス1機器供用期間中検査(原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲の見直しに伴う検査)範囲)

1. 配管

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A以上) 余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%
B9.21	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)	表面	25%
B9.32	B-J	配管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	表面	25%
B10.20	B-K	配管の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%
F1.10	F-A	支持構造物	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

2. 弁

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト・ナット 余熱除去ポンプ入口ライン(SV-RH-002A, 002B)	VT-1	代表1台の25%
B12.50	B-M-2	弁本体表面 余熱除去ポンプ入口ライン(SV-RH-002A, 002B)	VT-3	同一グループで1台
F1.41	F-A	支持構造物 余熱除去ポンプ入口ライン(SV-RH-002A, 002B)	VT-3	代表1台の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス1機器Ni基金金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器

適用文書： NRA文書		伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
-	-	原子炉容器の底部表面 (原子炉容器の底部 管台廻り360°を含む)	BMV	100%/5年
クラス1機器Ni基金金使用部位特別検査で管理				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

1. 配管

適用文書： NRA文書				伊方発電所第3号機検査計画（10カ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲		
-	-	充てんライン溶接継手	体積	25%	クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理	
		再生熱交換器連絡管溶接継手	体積	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉補機冷却水ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		備考
								13回 特4※1	-	14回	-	15回	15回 特1※2	
FL43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)			A 1箇所				

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

2. 格納容器スプレイポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								-	13回 特4※1	-	14回		-	15回
FL.43	F-A	支持構造物 ポンプ支持脚	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)			A 1箇所				

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用



3. 充てんポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
C3.30	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%
F1.43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

4. 余熱除去ポンプ

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
C6.10	C-G	ポンプケーシング部の溶接継手	表面	クラス2機器供用期間中検査で管理
FL43	F-A	支持構造物 ポンプ台板脚	VT-3	

※1 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

5. 格納容器スプレイ冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期	
								-	13回 特4※1	-	14回		-	15回
Cl.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	19-A/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%	-	-	-	-	-	-	A 7.5%
Cl.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	19-A/基 ×2基	UT	1つの 容器の 7.5%							A 7.5%

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用



7. 余熱除去冷却器

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
C1.10	C-A	胴とフランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%
C1.20		胴と鏡板との周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	管台数の7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

8. 配管 (1/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考													
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期												
					回数	特	回数		特	回数	特										
C3.20	C-C	配管の支持部材取り付け溶接継手	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所													
												弁熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												弁熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												低温側高圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												格納容器再循環ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			
												スプレイリング注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所			

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

8. 配管 (2/6)

項目番号	カテゴリ	適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考
									第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		
									13回 特4※1	-	14回	-	15回	15回 特1※2	
C5.11			余熱除去ポンプ入口ライン (1)	体積及び表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	
			(呼び径100mm超) 余熱除去ポンプ入口ライン (2)	体積及び表面	7.5%										
			余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%										
			高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%										
			低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%										
			高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%										
			燃料取替用水タンク出口ライン	体積及び表面	7.5%										
C5.12	C-F		主蒸気逃がしライン	体積及び表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)							
			配管の長手溶接継手 (呼び径100mm超、肉厚9.5mm超)	体積及び表面	7.5%										
			配管の周溶接継手 (呼び径50mm以上、100mm以下、肉厚5mm超)	表面	7.5%										
C5.21			高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)							
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%										
C5.30			高温側高圧注入ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)							
			低温側高圧注入ライン	表面	7.5%										

クラス2機器供用期間中検査で管理

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

8. 配管 (3/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 ハイパスライン	VT-3	7.5%	
		余熱除去冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	
支 持 構 造 物					

※1 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用



8. 配管 (4/6)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※1		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲
F1.21	F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%
		高温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%
		低温側高圧注入ライン	VT-3	7.5%
		高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%
支 持 構 造 物				
クラス2機器供用期間中検査で管理				

※1 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用



8. 配管 (6/6)

適用規格： 維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)																	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期			備考		
								-	13回特4※1	-	14回	-	15回	-	15回特1※2	-		16回	
FL.21	F-A	格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	HS 1	VT-3	7.5% (1箇所)												
					RH 9													1箇所	
		格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	SH 1	VT-3	7.5% (1箇所)												
					RH 10														1箇所
		格納容器スプレイ冷却器 入口ライン	VT-3	7.5%	SH 1	VT-3	7.5% (1箇所)												
					RH 3													1箇所	
		格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	SH 32	VT-3	7.5% (3箇所)												
					RH 32													1箇所	
		格納容器スプレイポンプ フルフローライン	VT-3	7.5%	SH 3	VT-3	7.5% (1箇所)												
					RH 3														1箇所
代替格納容器スプレイ ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)														
			RH 3													1箇所			
スプレイリング注入ライン	VT-3	7.5%	MS 2	VT-3	7.5% (2箇所)														
			RH 17													1箇所			
スプレイリング立上り ライン	VT-3	7.5%	RH 4	VT-3	7.5% (1箇所)														
			RH 4													1箇所			
主蒸気逃がしライン	VT-3	7.5%	RH 6	VT-3	7.5% (1箇所)														
			RH 6														1箇所		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

9. 弁

項目番号	カテゴリ	適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考	
									第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
									13回 特4※1	-	14回	-	15回	15回 特1※2		-
F1.43	F-A	支 持 構 造 物	余熱除去冷却器 出口ライン(1) (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			余熱除去冷却器 出口ライン(2) (3V-RH-051A, 051B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			余熱除去冷却器 出口ライン(3) (3V-RH-040A, 040B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			余熱除去冷却器 バイパスライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			高温側低圧注入 ライン (3V-RH-052A, 052B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			高圧注入ポンプ 出口ラインA (3V-SI-066A, 067A)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			高圧注入ポンプ 出口ラインB (3V-SI-066B, 067B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			高圧注入ポンプ 出口ライン (3V-SI-062A, 062B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			格納容器再循環ポンプ 出口ライン (3V-SI-093A, 093B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			格納容器再循環ポンプ 出口バイパスライン (3V-SI-092)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			格納容器再循環ユニット 出入口ライン(CV外) (3TCV-2420, 2421)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			格納容器スプレイポンプ 入口ライン (3V-CP-001A, 001B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×2台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			格納容器スプレイ冷却器 出口ライン (3V-CP-021A, 021B)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×4台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			アニュラス空気再循環ダクト (3V-VS-101A, 102A, 101B, 102B)	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							
			主蒸気逃がしライン (3FCV-465, 475, 485)	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所							

クラス2機器供用期間中検査で管理

(注) 項目番号C3.40 C-C/C4.40 C-D/C6.20 C-Gについては該当なし。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

10. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (1/6)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※4		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考					
項目番号	カテゴリ	システム名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期				
					13回特4※1	-	14回		-	15回特1※3	-	16回	
C7.30 C7.70		化学体積制御系統	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2									
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3A出口ライン	VT-2					○※2				
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3B出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.50 C7.70			充てんポンプ3C出口ライン	VT-2					○※2				
C7.10 C7.30 C7.70			充てん及び対水注入ライン	VT-2					○※2				
C7.30 C7.70	C-H		ほう酸ポンプ3A入口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70			ほう酸ポンプ3B入口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3A出口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.50 C7.70			ほう酸ポンプ3B出口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却供給ライン(1)	VT-2								○	
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却戻りライン(1)	VT-2							○		

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施。

※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※4 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (2/6)

項目番号		カテゴリ	適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※4	検査対象箇所	検査方法	伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考	
		システム名				第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
						13回特4※1	14回	15回	15回特1※3	16回			
C7.30	C7.70	安全注入系統	C-H	高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(1)	VT-2	-	-	○※2	-	-			
C7.30	C7.70			高圧注入ポンプ3A、3B 入口ライン(2)	VT-2	-	-	○	-	-	-		
C7.30	C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(1)	VT-2	-	-	-	○	-	-		
C7.30	C7.70			高圧注入ポンプ3A 出口ライン(2)	VT-2	-	-	-	-	○	-		
C7.30	C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(1)	VT-2	-	-	-	-	○	-		
C7.30	C7.70			高圧注入ポンプ3B 出口ライン(2)	VT-2	-	-	-	-	○※2	-		
C7.10	C7.30			蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○	-	
C7.30	C7.70			燃料取替用水タンク 出口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	-	
C7.30	C7.70			代替炉心注入ライン(1)	VT-2	-	-	-	-	○	-	-	
C7.30	C7.70			余熱除去ポンプ3A入口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○	-	
C7.30	C7.70	余熱除去ポンプ3B入口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○※2	-			
C7.10	C7.30	余熱除去ポンプ3A出口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○※2	-			
C7.10	C7.30	余熱除去ポンプ3B出口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○	-			
C7.30	C7.70	代替再循環ライン	VT-2	-	-	-	-	-	○	-			
C7.30	C7.70	格納容器スプレイポンプ 3A、3B入口ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	○			
C7.10	C7.30	格納容器スプレイ系統	VT-2	-	-	-	-	-	-	-			
C7.30	C7.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(1)	VT-2	-	-	-	-	-	○	-			
C7.30	C7.70	格納容器スプレイポンプ 3A出口ライン(2)	VT-2	-	-	-	-	-	○	-			

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 維持規格IA-2310(4)の長期プラント停止に伴う検査間隔延長を適用し、運転再開時に検査を実施。

※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※4 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/6)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)						備考			
項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		
					13回特4※1	14回	15回		15回特1※2	16回	
C7.10 C7.30 C7.70		格納器スプレイ系統	格納器スプレイポンプ3B出口ライン (1)	VT-2	-	-	-	○	-	-	
C7.30 C7.70			格納器スプレイポンプ3B出口ライン (2)	VT-2	-	-	-	○	-	-	
C7.30 C7.70		格納器スプレイ系統	代替炉心注入ライン(2)	VT-2	-	-	-	○	-	-	
C7.30 C7.70			代替格納器スプレイポンプ入口ライン	VT-2	-	-	-	○	-	-	
C7.30 C7.50 C7.70		C-H	代替格納器スプレイポンプ出口ライン	VT-2	-	-	-	○	-	-	
C7.30 C7.70			蒸気発生器3A蒸気出口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	
C7.30 C7.70		主蒸気系統	蒸気発生器3B蒸気出口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	
C7.30 C7.70			蒸気発生器3C蒸気出口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	
C7.10 C7.30 C7.70		主給水系統	蒸気発生器3A給水入口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3B給水入口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	
C7.10 C7.30 C7.70			蒸気発生器3C給水入口ライン	VT-2	-	-	-	-	○	-	

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用





1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (5/6)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)						備考				
項目番号	カテゴリ	システム名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期			
					13回特4※1	-	14回		-	15回特1※2	-	16回
C7.30 C7.70		原子炉補機冷却海水系統	原子炉補機冷却水サージタンク薬液供給ライン	VT-2					○			
C7.30 C7.70			原子炉補機冷却海水供給ライン	VT-2								○
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器出入口ライン	VT-2								○
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ冷却用海水放出ライン(1)	VT-2						○		
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A, 3B出入口ライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3A海水放出ライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			格納容器再循環ユニット3B海水放出ライン	VT-2						○		
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却供給ライン(2)	VT-2								○
C7.30 C7.70			充てんポンプ3B自己冷却戻りライン(2)	VT-2						○		
C7.10 C7.30 C7.60 C7.70	C-H		原子炉補機冷却海水系統	海水ポンプA, B出口ライン	VT-2							
C7.10 C7.30 C7.60 C7.70		海水ポンプC, D出口ライン		VT-2								○
C7.30 C7.70		制御用空気系統	制御用空気3A供給ライン	VT-2								○
C7.30 C7.70			制御用空気3B供給ライン	VT-2								○
C7.30 C7.70			格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁薬液供給ライン(1)	VT-2								○
C7.30 C7.70			格納容器ガスサンプリングライン空気作動弁薬液供給ライン(2)	VT-2								○
C7.30 C7.70			アニュラス非気系空気作動弁薬液供給ラインA	VT-2								○
C7.30 C7.70			アニュラス非気系空気作動弁薬液供給ラインB	VT-2								○

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

1.0. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (6/6)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※4		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)				備考					
項目番号	カテゴリ	システム名	検査対象箇所	検査方法	第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期		
					-		13回特4※1	-	14回	-	15回
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気圧縮機系統	制御用空気圧縮機A出口ライン	VT-2							○
C7.30 C7.70			制御用空気圧縮機B出口ライン	VT-2							
C7.30	換気空調設備系統	アニュラス排気ファン3A 出入口ライン	アニュラス排気ファン3A	VT-2					○		
C7.30			アニュラス排気ファン3B 出入口ライン	VT-2							
C7.30	湧水系統	ダクト (中央制御室～中央制御室)	ダクト	VT-2※2						○	
C7.30 C7.70			高圧注入ポンプ冷却用 海水放出ライン(2)	VT-2							
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	ディーゼル発電機 始動空気系統	ディーゼル発電機3A 始動空気ライン	VT-2							○
C7.10 C7.30 C7.70			ディーゼル発電機3B 始動空気ライン	VT-2							
C7.30 C7.70	試験採取系統	格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(1)	格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(1)	VT-2						○	
C7.10 C7.30 C7.70			格納容器雰囲気ガスサンプリング ライン(2)	VT-2							○
C7.30 C7.70	緊急時対策所 (EL. 32m) 空 気浄化設備系統	アニュラス水素濃度 (AM) 計測 ライン	アニュラス水素濃度 (AM) 計測 ライン	VT-2							○
C7.30 C7.70			緊急時対策所 (EL. 32m) 空 気浄化設備系統	VT-2							
C7.30 C7.70	緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧ライン	緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧ライン	緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧ライン	VT-2							○
C7.30 C7.70			緊急時対策所 (EL. 32m) 事 故時加圧ライン	VT-2							

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第58条第2項に記載の「他の方法」により外観検査を実施

※3 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※4 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

原子炉格納容器

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※3		伊方発電所第3号機検査計画（10ヵ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	
E8.10	E-C	圧力保持用ボルト締め付け部	VT-4	検査範囲 25%

原子炉格納容器供用期間中検査で管理

(注) 項目番号 E1.12 E-A/E3.11, E3.12, E3.13 E-Bについては該当なし。

項目番号 E9.10, E9.20, E9.30, E9.40 E-P/F1.42 F-Aについては、全体漏えい率試験又は局部漏えい率試験にて別途実施。

※1 施設定期検査の長期化に伴う追加検査

※2 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※3 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(1/5)

項目番号	カテゴリ	適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※2	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	伊方発電所第3号機検査計画(10ヵ年)						備考				
							第1検査時期		第2検査時期		第3検査時期						
							13回	14回	15回	15回特1※1	16回	17回		18回			
D2.10	D-B		300kVA電源車燃料タンク	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	3	-	-	-	-	○	○	○				
			75kVA電源車燃料タンク	VT-2		3	-	-	-	-	-	○	○		○		
			大型ポンプ車燃料タンク (大型ポンプ車)	VT-2		1	-	-	-	-	-	-	○		-	-	
			大型ポンプ車燃料タンク (大型ポンプ車(泡混合機能付))	VT-2		1	-	-	-	-	-	○	-		-	-	
			加圧ポンプ車燃料タンク	VT-2		3	-	-	-	○	-	○	○		-	-	
			中型ポンプ車燃料タンク	VT-2		7	-	-	-	○	-	○	○		-	-	
			緊急時対策所加圧装置	VT-2		447	-	-	-	-	-	○	-		-	-	
			緊急時対策所用発電機燃料タンク	VT-2		6	-	-	-	-	-	-	-		○	○	○
			ミニローリー	VT-2		5	-	-	-	-	-	-	-		○	-	-
			窒素ポンペ (V-47X排気系空気作動弁用)	VT-2		2	-	-	-	-	-	○	-		-	-	-
窒素ポンペ (加圧器逃がし弁用)	VT-2	3	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-					
窒素ポンペ (格納容器ガスサンプリング ライン空気作動弁用)	VT-2	3	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-					
窒素ポンペ (原子炉補機冷却水ポンク用)	VT-2	3	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-					

※1 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※2 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (2/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※2		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期		第2検査時期			第3検査時期			
						13回	14回	15回	15回特1※1	16回	17回	18回		
D2.30	D-B	大型放水砲	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	2	-	-	-	○	○	○			
		小型放水砲	VT-2		3	-	-	○						
		可搬型ダクト (緊急時対策所空気浄化ファン～ 緊急時対策所空気浄化ユニット ユニット)	VT-2		5	-	-	-	-	○	○	○		
		可搬型ダクト (緊急時対策所空気浄化ユニット～ 緊急時対策所 (DL.32m) 建屋接続口)	VT-2		11	-	-	-	-	-	-	○	○	
		集合配管 (ボンベラック)	VT-2		46	-	○	-	-	-	-	-	-	
		集合配管 (減圧ユニット)	VT-2		5	-	○	-	-	-	-	-	-	
		マニホールド (緊急時対策所加圧装置用)	VT-2		447	-	○	-	-	-	-	-	-	
		マニホールド (7.5t×排気系空気作動弁用)	VT-2		2	-	-	-	-	○	-	-	-	
		マニホールド (加圧器逃がし弁用)	VT-2		4	-	-	-	-	-	○	-	-	
		マニホールド (格納容器ガスサンプリング ライン空気作動弁用)	VT-2		3	-	-	-	-	-	○	-	-	
		マニホールド (原子炉補機冷却水キーンダク用)	VT-2		2	-	-	-	-	-	○	-	-	
		加圧器逃がし弁装置供給用 9m, 20mフレキシブルホース	VT-2		3	-	-	-	-	-	-	-	○	

※1 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※2 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(3/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※2		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期							
						13回	-	14回	-	15回	15回特1※1		-	16回	17回	18回				
D2.30	D-B	可搬型代替冷却水ポンプ接続用 5mフレキシブルホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	3			○												
		格納容器ガスサンプリングライン 空気作動弁窒素供給用 2m, 6mフレキシブルホース	VT-2		3					○										
		格納容器水素濃度計測装置接続用 1. 5m, 3mフレキシブルホース	VT-2		3						○									
		格納容器雰囲気ガスサンプル 冷却器冷却水屋外放出用 21mフレキシブルホース	VT-2		6							○								
		アニュラス水素濃度(AH) 計測装置接続用 1m, 2mフレキシブルホース	VT-2		3										○					
		アニュラス排気系空気作動弁 窒素供給用 3mフレキシブルホース	VT-2		2											○				
		原子炉補機冷却水サージタンク 窒素供給用 14mフレキシブルホース	VT-2		2								○							
		高圧注入ポンプ3B及び電動機 冷却水屋外放出用 5mフレキシブルホース	VT-2		2									○						
		代替格納容器雰囲気ガス サンプリング圧継ぎ装置接続用 2mフレキシブルホース	VT-2		3													○		
		軽油移送配管EL. 10m接続口 ～ミニローリー送油用10mホース	VT-2		2													○		
軽油タンク出口接続口 ～ミニローリー送油用10mホース	VT-2	10													○					

※1 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査

※2 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査(4/5)

適用規格：維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 ※2		伊方発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	設備数	第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期						
						13回	14回	15回	15回特1※1	16回	17回		18回						
D2.30	D-B	重油タンク出口接続口 ～重油移送配管EL.84m接続口 又はミニローリー 送油用10mホース	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	8		○												
		重油移送配管EL.10m接続口 又はミニローリー ～燃料油貯槽燃料油給油口 送油用10mホース	VT-2		6		○												
		重油移送配管EL.44m接続口 ～ミニローリー 送油用10mホース	VT-2		34		○												
		ミニローリー ～軽油移送配管EL.32m接続口 送油用10mホース	VT-2		2		○												
		ミニローリー車載 送油用19.5m, 20mホース	VT-2		5												○		
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車 (泡混合機能付) 出口ライン 送水用5m, 10m, 50mホース	VT-2		5m : 2 10m : 11 50m : 37					○						○			
		大型ポンプ車又は大型ポンプ車 (泡混合機能付) 入口ライン 取水用5m, 10m, 20mホース	VT-2		5m : 5 10m : 7 20m : 3											○			
		加圧ポンプ車出口ライン 送水用19m, 20mホース	VT-2		19m : 5 20m : 29											○			
		中型ポンプ車出口ライン 送水用10m, 20m, 50mホース	VT-2		10m : 17 20m : 21 50m : 63											○			
		ホース (緊急時対策所加圧装置用 高圧ホース)	VT-2		48												○		

※1 定期事業者検査の長期化に伴う追加検査  
 ※2 15回特1以前はJSME S NA1-2008を適用

1. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 (5/5)

適用規格：維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 ※2		伊方発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査圧力	第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期									
					13回	-	14回	-	15回	15回特1※1	-		16回	17回	18回					
D2.30	D-B	ホース (緊急時対策所加圧装置用 低圧ホース)	VT-2	運転圧力以上又は機能試験時の圧力以上	6	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		300kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2		3	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	
		75kVA電源車冷却水ポンプ	VT-2		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	
		大型ポンプ車	VT-2		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
		大型ポンプ車 (泡混合機能付)	VT-2		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		加圧ポンプ車	VT-2		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	
		中型ポンプ車	VT-2		7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	
		可搬型代替冷却水ポンプ	VT-2		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○
		緊急時対策所用発電機 冷却水ポンプ	VT-2		6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

※1 定期事業用検査の長期化に伴う追加検査

※2 15回特1以前はJSME S NAI-2008を適用



添付書類四 定期事業者検査の判定方法

# 目 次

I. 定期事業者検査の判定方法	1
-----------------	---

## I. 定期事業者検査の判定方法

### (1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い、表-1に記載する検査の方法の考え方にに基づき適切な検査方法を選定のうえ、対象設備に対し定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1の検査は、設備の点検にあわせて、又は点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は、設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙-1 点検計画参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査をすべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

### (2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・供用期間中特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査

○また、第17サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・燃料集合体外観検査
- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－１ 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第５６条	検査の方法	
	検査項目	検査方法
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態で亀裂、変形、摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等（支持構造物を含む。）の組立・据付け位置、仕上がり状態、分解・開放しない状態での漏えい又はその形跡、亀裂、変形等の異常の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	放射線透過試験、超音波探傷試験、磁粉探傷試験、浸透探傷試験、渦流探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい（率）検査	系統及び機器等の組立、据付又は点検完了後、所定の圧力において耐圧試験等を行い、これに耐え、著しい漏えいの有無又は漏えい率 <sup>※１</sup> を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定 <sup>※２</sup> 、校正及び設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の組立、据付又は点検完了後、作動試験、試運転及びインターロック試験等を行い、機器等単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の組立、据付又は点検完了後に、定格出力近傍で発電用原子炉施設の運転を行い、各発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。

※１：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※２：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の考え方に基づき実施する具体的な定期事業者検査は、点検計画（添付書類三 別紙－１）のとおり。

なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は、定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）  
からの変更内容

# 目 次

I. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について	1
定量的に定める施設管理目標の変更内容について	
II. 施設管理実施計画の変更内容について	1
III. 定期事業者検査の判定方法の変更内容について	1
別紙－1 施設管理目標の変更内容	
別紙－2 施設管理実施計画の変更内容	

I. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理目標の変更内容について

別紙-1のとおり

II. 施設管理実施計画の変更内容について

別紙-2のとおり

III. 定期事業者検査の判定方法の変更内容について

なし



## 施設管理目標の変更内容

No.	指標	系統名、要求機能	変更理由	該当ページ
1	プラントレベル	—	保安規定改正に伴う変更	別紙1-2
2	系統レベル	安全注入系統 アクシデントマネジメント 機能 【代替再循環】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-4
3	系統レベル	原子炉補機冷却水系統 アクシデントマネジメント 機能 【格納容器自然対流冷却】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-7
4	系統レベル	制御用空気系統 MS-1⑧安全上重要な関連機 能	UA時間目標値を適正化（保安規定 と整合）	別紙1-8
5	系統レベル	格納容器換気空調系統 アクシデントマネジメント 機能 【格納容器自然対流冷却】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-8
6	系統レベル	中央制御室換気空調系統 MS-2安全上重要な関連機能 【間接関連系】	同系統MS-1安全上重要な関連機能と 系統を共有していることから、一つ の機能として管理することとしたた め削除	別紙1-8
7	系統レベル	重大事故等対処設備 電源設備	非常用ガスタービン発電機および蓄 電池（3系統目）の運用開始に伴う 記載の追加および記載の適正化	別紙1-14
8	系統レベル	特定重大事故等対処施設を 構成する設備 〈一式〉	特定重大事故等対処設備の運用開始 に伴う監視項目の追加	別紙1-16

1. プラントレベルの保全活動管理指標

指 標	目 標 値
計画外原子炉自動・手動トリップ回数	< 1回/7000臨界時間
計画外出力変動回数	< 2回/7000臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	< 1回/サイクル

2. 系統レベルの保全活動管理指標

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
1次冷却材系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	<1回	-	●他の系統に属する原子炉冷却材圧力バウンダリ機器についてもこの指標で管理する。
	PS-1②過剰反応度の印加防止機能	<1回	-	
	PS-1③炉心形状の維持機能	<1回	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0時間	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0時間	
	MS-1③原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<1回	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2④安全弁・逃がし弁の吹き止まり機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	[加圧器逃がし弁] <1回 [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後継ヒータ] <2回	<72時間/各逃がしライン <72時間/各ヒータ系統	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】※1	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】※1	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】※1	<2回	モータ1~3 <72時間/各逃がしライン モータ4~6 <24時間	

※1 要求機能における【LCO】の表記は、クラス3の機能のうち、原子炉施設保安規定の運転上の制限に関連する機能を示す。以下、本表において同様。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2サイクルあたり)	
化学体積制御系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<240時間 両トリン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<2回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
	冷却材補給機能	<2回	<720時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	安全注入系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間
MS-1⑤炉心冷却機能		<1回	<1時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時 0時間 <240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】		-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能		<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
原子炉システムメンテナンス機能 【代替再循環】		<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
余熱除去系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<240時間/各トレン トレン同時 0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<1回	-	
	余熱除去系統への漏えい監視機能	<2回	-	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレン トレン同時 0時間 <72時間/タンク	●消火設備系統のアクシデントマネジメント機能【格納容器消火スプレイ注水】を含む。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/タンク	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	<1回	<4時間/各原子炉格納容器隔離弁 <24時間/各エアロック	●他の系統に属する格納容器バウンダリ機器についてはこの指標で管理する。
原子炉格納施設	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	
	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
使用済燃料ピット冷却系統	PS-3③放射線物質を貯蔵する機能【間接関連系】 【LCO】	<2回	-	
	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
燃料取扱設備	PS-2④燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	-	

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値【サイクルあたり】	非待機時間(C/A時間) 目標値【サイクルあたり】	
燃料取替用水系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<1時間	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<1時間	
	MS-1⑩放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	MS-1⑩放射性物質の閉じ込め機能、放熱線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	<1時間	
	MS-2①使用済燃料ピットの補給機能	<2回	<720時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<72時間/各ライン	
主給水系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/各ライン	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<6時間/各安全弁 <8時間/各ライン隔離 <168時間/各遮がしライン <240時間/各蒸気弁弁	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	<1回	<168時間/各遮がしライン <8時間/各ライン隔離 <8時間/各逆止弁	
主蒸気系統	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<720時間	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<1回	<240時間/各系統 2系統以上、0時間 <168時間/タンク	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<168時間/各遮がしライン <8時間/各ライン隔離 <8時間/各逆止弁	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間/各ライン	
補助給水系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間/各ライン	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
2次系純水系統	原子炉停止後の除熱機能	<2回	<720時間	
蒸気発生器ブローダウン系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<240時間/各ライン	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間/各ライン	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<240時間/各ライン 同ライン同時0時間 隔離機能 <240時間	●空調用冷水設備系統のアンデントマネジメント機能【代替補機冷却】も含む。
原子炉補機冷却水系統	MS-2③事故時のフロント状態の把握機能	<2回	-	
蒸気発生器細管漏えい監視機能	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	-	
	アンデントマネジメント機能 【格納容器自然対流冷却】	<2回	<720時間	
原子炉補機冷却海水系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<105時間/各ライン 同ライン同時0時間	●海水ピットを含む。
気体廃棄物処理系統	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	-	
液体廃棄物処理系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	1次冷却材漏えい率監視機能	<2回	-	
原子炉補給水系統(純水)	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
原子炉補給水系統(脱塩水)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値【サイクルあたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【サイクルあたり】	
制御用空気系統	MS-1①放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1②安全上特に重要な関連機能	<1回	制御用空気圧縮装置 2台同時 <72時間 <72時間/各トリン	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間	●制御用空気系統のMS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能の直接関連系も含む。
	MS-1⑤放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
所内用空気系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	アクシデントマネジメント機能 【格納容器消火スプレイ注水】	<2回	<720時間	●格納容器スプレイ系統の主配管から、スプレイ系統側の稼働配管もこの指標で管理する。
格納容器換気空調系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間	
アニュラス空気浄化系統	アキシデントマネジメント機能 【格納容器自然対流冷却】	<2回	<720時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
補助建屋換気空調系統	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トリン	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<1回	DC室、電動補助給水ポンプ室、制御用空気圧縮機室 <240時間/各トリン/各室 両トリン同時 <72時間/各室 タービン動補助給水ポンプ室、安全補機閉閉器室 両トリン同時 <72時間/各室	
安全補機室空気浄化系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 <72時間	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	<720時間/各トリン 全トリン同時 <240時間	
中央制御室換気空調系統	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	<240時間	



系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値(1回/年あたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2回/年あたり)	
空調用冷水設備系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
空調用冷水設備系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<720時間/各ライン 全ライン同時 <240時間	
空調用冷水設備系統	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	<720時間	
空調用冷水設備系統	アクシデントマネジメント機能【代替補機冷却】	<2回	<720時間	●原子炉補機冷却水系統の余熱除去ポンプ3B及び電動機冷却水出入口系統の主配管から、補機冷却水系統側の接続配管もこの指標で管理する。
格納容器減圧バージ系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
1次系統材料採取系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
1次系統材料採取系統	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
モニタ空気サンプリング系統	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	-	
モニタ空気サンプリング系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
モニタ空気サンプリング系統	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
格納容器真空逃がし系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器真空逃がし系統	原子炉格納容器真空逃がし機能	<2回	<240時間/系統 2系統同時 0時間	
格納容器水素バージ系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
炉内核計装装置ガスバージ設備系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器漏洩率試験装置系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
非常用ディーゼル発電機系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク貯油量 <240時間/各系 燃料油・潤滑油・始動用空気 <48時間/各系/各系	

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
外部電源系統	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	すべての外部電源が他の回線に対して独立性を有していない場合、および動作可能な外部電源が2回線である場合 720時間/系統 動作可能な外部電源が1回線である場合 240時間 全ての外部電源が動作不能 24時間	
メタララ系統	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	
パワーセンター系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
コントロールセンター系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
直流電源装置系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	非常用直流母線 <2時間/各母線 蓄電池及び充電器 <128時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
計装用電源系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<2時間/各母線	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	
制御棒駆動電源装置系統	MS-1⑩原子炉の緊急停止機能	<1回	<1時間/各トレイ	
	MS-2③事故時のブランク状態の把握機能	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	

系統名	要求機能	保全活動管理措置目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(CIA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
原子炉制御保護装置	MS-1①原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<1時間/各チャンネル <48時間/各インターロックチャンネル <6時間/各ロータリ盤 <6時間/各シーケンス盤	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<6時間/各DGLイン <720時間/各M信号ライン <6時間/各シーケンス盤	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トリン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<72時間/各シーケンス盤	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】	<2回	モータ1~3 <72時間/各逃がし弁 モータ4~6 <24時間	
	制御室迅速時制御盤への情報伝送機能	<2回	-	
	制御棒位置指示装置	<2回	-	
	制御棒制御装置	<2回	-	
制御室迅速時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	<720時間	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	-	
炉外核計装装置	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	線源領域中性子束指示機能	<2回	-	

系統名	要求機能	保安活動管理目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFF回数) 目標値[サイクルあたり]	非待機時間(CA時間) 目標値[サイクルあたり]	
炉内核計装装置	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	<2回	-	
放射線監視装置	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	-	
換気系制御室遅延時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	<720時間	
建屋(原子炉建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	●燃料取扱棟のMS-2②放射性物質放出の防止機能も含む。
建屋(原子炉補助建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	-	●中央制御室の遮へい機能。
防護設備	電巻、給水等に対して発電用原子炉施設を防護する機能	<2回	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値[1すいけりあたり]	保全活動管理目標値 非待機時間(UA時間) 目標値[2すいけりあたり]	備考
<p>緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備</p> <p>1次冷却系統のフイードアンドブリードをするための設備</p>	<p>炉心注水をするための設備</p>	<p>SAウラス2: &lt;1回 SAウラス3: &lt;2回</p>	<p>多様化自動作動装置(ATWS 緩和設備)論理回路 720時間/系統 蒸気発生器水位低 720時間/チャンネル</p> <p>高圧注入系 240時間/系統 加圧器逃がし弁 72時間/台</p> <p>高圧注入系 全系統同時 0時間 高圧再循環系 全系統同時 0時間 低圧注入系 全系統同時 0時間 低圧再循環系 全系統同時 0時間 充てんポンプ(B, 自己冷却式)による代替注水系 720時間</p> <p>中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系 720時間/系統 代替再循環運転 [格納容器スプレイポンプ (B, 代替再循環配管使用)による代替再循環系] 240時間 代替再循環運転 [格納容器再循環サブB隔離弁パイパス弁] 72時間 代替再循環運転 [高圧注入ポンプ(B, 海水冷却)による高圧再循環系] 240時間</p>	
	<p>1次冷却系統の減圧をするための設備</p>	<p>1次冷却系統の減圧をするための設備</p>		<p>原子炉格納容器スプレイ系 全系統同時 0時間 スプレイ再循環系 全系統同時 0時間 代替原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替原子炉格納容器スプレイ系 720時間</p>
<p>原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備</p>	<p>原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備</p>		<p>原子炉格納容器内自然対流冷却系 720時間 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系 および代替再循環冷却系 720時間/系統 2系統同時 240時間</p>	
<p>2次冷却系からの除熱(注水)をするための設備</p>	<p>補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 および 補助給水タンクを水源としたタービン動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 両系統が動作不能である場合:0時間</p>			

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	保安活動管理指標目標値 非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	備考
	2次冷却系からの除熱(蒸気放出)をするための設備		主蒸気逃がし弁 72時間/個 2個以上同時 24時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備		静的触媒式水素再結合装置 72時間/基	格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 720時間
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備		アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時	代替空気(窒素)系統 240時間
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備		—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備		大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型放水砲、 泡混合器、大型放水砲、 240時間 放射性物質吸着剤、 海水ピットシルトフェンス、取水ピットシルトフェンス、 放水ピットシルトフェンス、放水ピットテントシート、 雨水排水溝海洋シルトフェンス、小型船舶 240時間	
重大事故等対処設備	重大事故等の収束に必要な水の供給設備	SAクラス2: <1回 SAクラス3: <2回	中型ポンプ車による補助給水 タンクへの補給系 240時間 燃料取替用水タンク水量 1時間 補助給水タンク水量 72時間	
電源設備	電源設備		非常用ガスタービン発電機からの電源系およびまたは 空冷式非常用発電装置からの電源系 240時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器からの電源系 720時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 720時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 720時間 蓄電池(3系統目) 720時間 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器) からの電源系 720時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 240時間 重油タンク油量 48時間 軽油タンク油量 72時間 ミニローリー 72時間/台 3台同時 48時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFH回数) 目標値(1台/年あたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2台/年あたり)	
重大事故等対応設備	計装設備		可搬型計測器 所要数を満足できない状態 720時間	
	中央制御室		中央制御室非常用循環系 全系統同時 72時間 中央制御室用可搬型照明 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	
	監視測定設備		—	
	緊急時対策所	SAクラス2: <1回 SAクラス3: <2回	緊急時対策用発電機 240時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 240時間 緊急時対策所加圧装置 240時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	
	通信連絡を行うために必要な設備		240時間	
	中型ポンプ車		中型ポンプ車 720時間/台 3台以上同時 240時間	
	その他設備		240時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPFF回数) <small>目標値(1ヶ月あたり)</small>	安全活動管理指標目標値 <small>非待機時間(UA時間)            目標値(2ヶ月あたり)</small>	備考
<p style="color: red;">特定重大事故等対処施設を構成する設備</p>				